

令和6年度 訪問看護ステーションに関するアンケート調査報告書

【目次】

I. 調査概要

II. 調査結果の概要

III. 調査結果

- 1 基礎データ
- 2 職員の配置等について
- 3 訪問看護サービスの提供状況について
- 4 経営状況等について
- 5 訪問看護全般について
- 6 令和5年度(R5.4.1～R6.3.31)を振り返り、新型コロナウイルス感染症等への対応について
- 7 ハラスメント防止対策の対応について
- 8 訪問看護ステーション管理者について
- 9 業務効率化や労働環境整備について
- 10 特定行為研修を修了した看護師の活用・育成について
- 11 医療安全体制について
- 12 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について
- 13 その他

令和7年3月31日
埼玉県保健医療部医療人材課
一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会

I. 調査概要

I. 調査目的

2025年に向けて地域包括ケアシステム構築の推進、さらには在宅医療体制の強化を図る中で、訪問看護にする今後の施策の参考とするため、埼玉県内の訪問看護ステーションの現状や課題を把握する。

II. 調査内容

1. 基礎データ
2. 職員の配置等について
3. 訪問看護サービスの提供状況について
4. 経営状況等について
5. 訪問看護全般 他

III. 調査実施概要

(1) 調査対象

埼玉県内のすべての訪問看護ステーション 856事業所(令和6年11月1日現在)

(2) 調査時期

令和6年8月

(3) 調査方法

埼玉県訪問看護ステーション協会が埼玉県から委託を受けて、インターネット又はファックスで回収を行った。

(4) 回収結果 回収率 31.4% (有効回収数 269 事業所)

(単位:事業所、%)

医療圏	区域内市町村	ステーション数	回収数	回収率
南部	川口市・蕨市・戸田市	69	32	46.4%
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	68	21	30.9%
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町	130	42	32.3%
さいたま	さいたま市	176	54	30.7%
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	59	16	27.1%
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	99	23	23.2%
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	105	31	29.5%
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	69	24	34.8%
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町	74	23	31.1%
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町	7	3	42.9%
無回答		-	-	-
県全体(合計)		856	269	31.4%

《参考① 調査結果の見方》

- 回答比率(%)は、小数点以下四捨五入したため、個々の比率の合計は100%にならないことがあります。平均値についても同様です。
- グラフの中で「n」とあるのは、その質問の有効回答者の総数を示し、回答比率は「n」を基数として算出しています。
- 複数回答の質問については、その回答比率の合計は100%を超えることがあります。

《参考② 埼玉県内の訪問看護に関するデータ》

- 県内の訪問看護ステーションに従事する看護職員数（実人員）

(単位：
人)

平成 22 年	平成 24 年	平成 26 年	平成 28 年	平成 30 年	令和 2 年	令和 4 年
1,162	1,302	1,583	2,133	2,458	3,119	3,280

出典：「衛生行政報告例」（各年12月31日現在）

※看護職員数は、「保健師」「助産師」「看護師」「准看護師」の合計数

- 県内の訪問看護ステーション数

(単位：ステーション)

平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
391	424	476	544	610	690	788

出典：「埼玉県内介護サービス事業所の指定状況」（各年3月1日現在）

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 基礎データ

アンケート回答 令和6年度 269施設であった。回答率31.4%

2. 職員の配置等について

- ・訪問看護ステーション(事業所)の看護職員数(常勤換算)は、「5人未満」のステーションが49.9%と約5割である。1事業所の看護職員数(常勤換算)の平均は6.02人となっている。
- ・機能強化型訪問看護ステーションの要件の一つである、常勤の看護職員数(実人数)については、5人以上7人未満のステーションが17.5%で、「7人以上」が29.7%となっている。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかを配置しているステーションは63.2%、事務職員を配置しているステーションは74.7%となっている。
- ・各ステーションにおいて看護職員が確保できているか(充足しているか)については、「確保できている」が54.6%、「確保できていない」が44.6%となっている。
- ・県全体の離職率は18.2%となっている。(昨年参考数値:16.0%)

3. 訪問看護サービスの提供状況について

- ・「(介護保険)ターミナルケア加算」を届出ているステーションは82.4%であり、「(医療保険)ターミナルケア療養費」を届出ているステーションは、79.4%であった。直近1カ月の1事業所あたり平均件数は「(介)ターミナルケア加算」算定件数は0.9人、「(医)ターミナル療養費」の算定件数は1.8人であった。
- ・24時間対応については電話及び必要に応じて訪問するステーションが91.8%、対応していないステーションが5.9%となっている

4. 経営状況等について

- ・利用者の受け入れ状況については「依頼数は受け入れ可能数に比べてちょうどよい」が36.8%である。「依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない」32.3%、「依頼数多く業務過剰傾向だが訪問依頼は断っていない」20.8%、「依頼数が多く、訪問依頼を断っている」7.1%と偏りが見られる。
- ・直近1年間においてサービスを断ったことのあるステーションは55.8%であり、その理由としては「職員不足によって対応ができなかった」「移動距離が長かったため」となっている。その他「医療処置等サービス内容が対応困難だったため」と続き、少数意見として、「リハビリ職種の限定があり対応困難」「エリア外」「月～日の毎日の小児の依頼で土日対応が困難だった」も回答があった。
- ・直近の事業年度末決算における収支状況について、黒字のステーションが46.8%、赤字ステーションが31.6%、不明が15.6%となっている。
- ・機能強化型訪問看護管理療養費の算定については、「現在算定している」が13.0%「要件が整っており届け出する予定」が0.7%、「要件が整えれば算定したい」ステーションが38.7%となっている。
- ・経営上の課題については、回答が多かったのは「看護職員の質の向上」「利用者の確保」「後継者の育成」「看護職員の不足」である。

5. 訪問看護全般について

- ・「訪問看護相談窓口」「看護管理者相談窓口」を活用した効果として、「請求漏れや請求間違いを防ぐことが出来た」「新たな加算等を算定することが出来た」などの回答が得られた。
- ・「訪問看護体験実習」の活用の効果として、「ステーションのPR」「職員の採用」につながっている。
- ・訪問看護に関する県の取り組みに関し、実施してほしい事業について、回答が多かったのは「請求事務をバックアップする事業」「訪問看護師の育成を支援する事業」「新人訪問看護師の育成体制を強化する事業」となっている。少数意見として、「認定看護師や特定行為研修終了看護師の在籍状況がわかる仕組み」や「ハラスメント対策の充実」「看護師人材紹介」などの意見があげられた。

6. 新型コロナウイルス感染症等への対応について

- ・新型コロナウイルス感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの状況については、「取り組める見込みがない」事業所は2事業所、「まったく取り組んでいないが、これから取り組む予定」9事業所であった。
- ・自然災害発生時に業務継続に向けた取り組みの状況については、「計画の見直しに取り組む」事業所は257事業所、その他意見で取り組めてない事業所もあった。

- 7. ハラスメント防止対策への対応については、266事業所中、243事業所が何らかの対策をしていると回答。

ハラスメント防止対策を実施している事業所の離職率は実施していない事業所より低くなった。

8. 管理者については、268事業所中、管理者の経験年数が、1年未満が64事業所、1～5年未満が99事業所だった。

9. 業務効率化や労働環境整備に関しては、267事業所中、223事業所がICT導入しており、27事業所が「検討中・準備中」と回答している。「労働環境整備・働き方改革を実施しているか」に関しては、266事業所中117事業所が実施していると回答。実施していない事業所が149事業所となっている。実施している取り組みとしては、「残業0、土日祝日勤務なしを実現している」の回答が117事業所中24事業所あり、「企業内保育所を設置している」が26事業所あった。

10. 特定行為研修終了した看護師の活用・育成について

265事業所中、「是非育成・活用したい」「出来れば育成・活用したい」が163事業所あった。「育成・活用は難しい」と回答した事業所は76事業所。理由として「特定行為研修を受講させる人員の余裕がない」「実習施設の確保が困難」があげられた。

11. 医療安全体制について

医療安全の体制・取り組みについて、266事業所中「している」206事業所、「していない」60事業所。「自部署内で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している」154事業所、「医療安全研修の実施」が92事業所であった。

12. 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について

令和5年度の研修の認知は、79.6%が知っていると回答。知っている事業所225事業所の内、「訪問看護研修・訪問看護管理者研修」受講した事業所の離職率は16.3%、受講しなかった事業所の離職率は17.8%だった。「教育ステーション事業（WEB研修、同行訪問）」を利用した事業所の離職率17.2%、受講しなかった離職率18.1%だった。

Ⅲ. 調査結果

1 基礎データ

開設主体 (n=269)

回答内容	事業所数	構成比(%)
① 医師会・看護協会	15	5.6%
② 医療法人	73	27.1%
③ 社会福祉法人(社協含む)	7	2.6%
④ 社団・財団(①を除く)	8	3.0%
⑤ 営利法人(株式会社・有限会社・合同会社)	149	55.4%
⑥ NPO法人	5	1.9%
⑦ 生活協同組合	4	1.5%
⑧ その他	8	3.0%
合計	269	100.0%

精神科訪問看護特化型の該当 (n=269)

回答内容	事業所数	構成比(%)
該当する	41	15.2%
該当しない	228	84.8%
合計	269	100.0%

土日祝日営業の有無 (n=269)

あり 168 事業所 (62.5%) なし 101 事業所 (37.5%)

回答内容	事業所数	構成比(%)
① 土曜のみ営業	35	20.8%
② 日曜のみ営業	1	0.6%
③ 土日営業	3	1.8%
④ 土日祝日すべて営業	47	28.0%
⑤ その他	76	45.2%
無回答	6	3.6%
合計	168	100.0%

※⑤ その他

- ・土曜日・祝日営業(日曜定休日)
- ・土日休み 祝日営業
- ・土曜日午前のみ営業、日曜日祝日休み
- ・祝日と年末年始休み
- ・毎日訪問が必要な方、特別指示書が発行された方のみ訪問。
- ・予定訪問を計画した場合は訪問している
- ・営業日以外の計画的な対応は行っている など

開業して間もないか否か

開業して間もないと回答した事業所 31事業所

南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
3	0	8	6	1	1	4	3	5	0

2 職員の配置等について

問1 貴事業所における看護師等の配置状況について、常勤職員、非常勤職員別に教えてください。

① 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤換算)

単位:事業所

看護職員数(常勤換算)(2次医療圏別階層別事業所数)(n=269)(常勤換算平均値:6.02人 無回答を除く(n=261))												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
3人未満	30	3	3	2	5	1	3	5	3	5	0	6	8	10	5	1
3人以上5人未満	104	9	7	25	19	3	7	13	12	8	1	43	42	14	4	1
5人以上7人未満	47	9	5	4	8	6	5	2	4	2	2	25	17	5	0	0
7人以上	80	10	6	9	21	6	8	9	4	7	0	51	17	12	0	0
無回答	8	1	0	2	1	0	0	2	1	1	0	1	1	1	1	4

無回答を除く1事業所あたりの看護職員数平均値は、6.02人であった。(n = 261)

①-2 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

看護職員数の階層別事業所数の割合(常勤換算)(n = 269)

	構成比
全体	100.0%
3人未満	11.2%
3人以上5人未満	38.7%
5人以上7人未満	17.5%
7人以上	29.7%
無回答	3.0%

①-3 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(常勤換算)

(黒字または赤字と回答した事業所のみ集計)(n = 211)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	4.8%	9.4%
3人以上5人未満	34.1%	49.4%
5人以上7人未満	19.8%	20.0%
7人以上	40.5%	20.0%
無回答	0.8%	1.2%

② 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤の実人数)

単位:事業所

2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤の実人数) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
3人未満	55	8	4	10	8	5	4	6	5	4	1	18	15	15	6	1
3人以上5人未満	108	10	6	22	22	2	11	14	11	10	0	45	46	13	3	1
5人以上7人未満	47	6	8	6	9	5	2	3	3	3	2	25	16	4	1	1
7人以上	57	7	3	3	15	4	6	8	5	6	0	38	8	10	0	1
無回答	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

②-2 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(常勤の実人数)(n=269)

	構成比
全体	100.0%
3人未満	20.4%
3人以上5人未満	40.1%
5人以上7人未満	17.5%
7人以上	21.2%
無回答	0.7%

②-3 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(常勤の実人数)

(黒字または赤字と回答した事業所のみ集計)(n=211)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	14.3%	17.6%
3人以上5人未満	35.7%	54.1%
5人以上7人未満	19.8%	18.8%
7人以上	30.2%	9.4%
無回答	0.0%	0.0%

③ 2次医療圏別 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数(常勤換算) (n=269)

単位:事業所

1事業所あたりのPT OT ST職員数階層別事業所数 (常勤換算数) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
0人	84	9	6	10	11	8	12	11	10	6	1	28	38	12	5	1
3人未満	83	12	8	10	15	7	8	6	7	8	2	46	26	8	2	1
3人以上5人未満	21	2	1	5	5	0	0	3	3	2	0	15	3	3	0	0
5人以上7人未満	23	4	2	5	4	1	1	3	1	2	0	10	4	9	0	0
7人以上	17	2	3	3	6	0	1	1	0	1	0	11	3	2	1	0
無回答	41	3	1	9	13	0	1	7	3	4	0	16	11	8	2	4

③-2 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

※無回答を除いて算出 (n=228)

	構成比
全体	100.0%
0人	36.8%
3人未満	36.4%
3人以上5人未満	9.2%
5人以上7人未満	10.1%
7人以上	7.5%

PT・OT・STいずれかの職員を配置している訪問看護ステーションが全体の63.2%であった。

④ 2次医療圏別 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数(常勤換算) (n=269)

単位:事業所

1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数 (常勤換算数) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
0人	60	5	5	9	11	2	6	6	8	8	0	20	24	11	4	1
3人未満	164	24	15	23	31	12	15	18	12	11	3	88	51	21	3	1
3人以上5人未満	9	0	1	0	4	1	1	1	1	0	0	6	0	3	0	0
5人以上7人未満	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
7人以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
無回答	32	2	0	9	7	0	1	6	3	4	0	10	8	7	3	4

④-2 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

※無回答を除いて算出 (n=237)

	構成比
全体	100.0%
0人	25.3%
3人未満	69.2%
3人以上5人未満	3.8%
5人以上7人未満	1.3%
7人以上	0.4%

事務職員を配置している訪問看護ステーションが74.7%であった。

⑤ 2次医療圏別1事業所あたりの職員数(常勤換算) (n=269)

単位:事業所

職員数合計(常勤換算数) 2次医療圏別階層別事業所数 (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
3人未満	18	1	0	2	2	0	2	3	3	5	0	5	4	6	3	0
3人以上5人未満	67	4	6	16	12	2	4	11	8	4	0	20	31	11	4	1
5人以上7人未満	46	8	3	4	10	3	7	3	4	2	2	22	16	6	1	1
7人以上	131	18	12	19	29	11	10	12	8	11	1	79	33	18	1	0
無回答	7	1	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	1	1	1	4

⑤-2 1事業所あたりの職員数の割合(常勤換算)

※ 無回答を除いて算出 (n=262)

	構成比
全体	100.0%
3人未満	6.9%
3人以上5人未満	25.6%
5人以上7人未満	17.6%
7人以上	50.0%

問2 現状において、貴事業所では看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）が確保（充足）できていますか。

看護職員が確保できていますか。（2次医療圏別事業所数）（n=269）（単位：事業所）											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
① 確保できている（充足している）	147	20	9	26	28	9	12	9	18	15	1
② 確保できていない（不足している）	120	11	12	16	26	7	11	22	6	8	1
無回答	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

看護職員が確保できていますか。（2次医療圏別事業所数割合）（n=269）（単位：%）											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 確保できている（充足している）	54.6%	62.5%	42.9%	61.9%	51.9%	56.3%	52.2%	29.0%	75.0%	65.2%	33.3%
② 確保できていない（不足している）	44.6%	34.4%	57.1%	38.1%	48.1%	43.8%	47.8%	71.0%	25.0%	34.8%	33.3%
無回答	0.7%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

確保できていないと回答した場合、常勤・非常勤の別 ※確保できていないと回答した事業所のみ回答 （2次医療圏別事業所数）（n=120）（単位：事業所）											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	120	11	12	16	26	7	11	22	6	8	1
常勤が確保できていない	79	8	6	11	15	5	8	14	5	6	1
非常勤が確保できていない	7	1	2	0	2	1	0	1	0	0	0
常勤・非常勤共に確保できていない	32	2	4	4	8	1	3	7	1	2	0
無記入	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

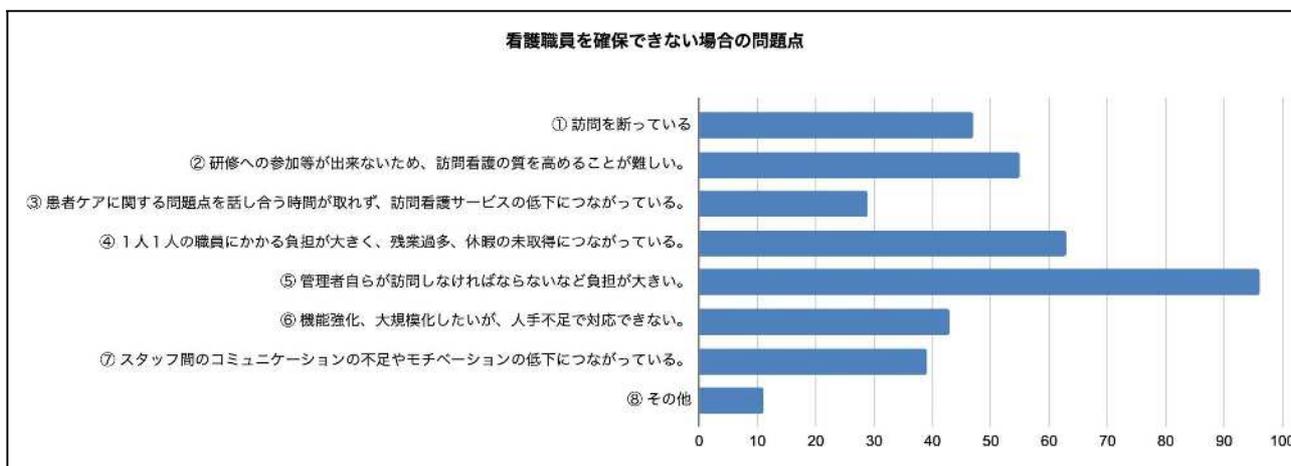
問3 看護職員を確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。（複数回答可）

※問2で「できていない」と回答した事業所のみ回答（n=120）

看護職員を確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。（複数回答可）（単位：事業所）	
① 訪問を断っている	47
② 研修への参加等が出来ないため、訪問看護の質を高めることが難しい。	55
③ 患者ケアに関する問題点を話し合う時間が取れず、訪問看護サービスの低下につながっている。	29
④ 1人1人の職員にかかる負担が大きく、残業過多、休暇の未取得につながっている。	63
⑤ 管理者自らが訪問しなければならないなど負担が大きい。	96
⑥ 機能強化、大規模化したいが、人手不足で対応できない。	43
⑦ スタッフ間のコミュニケーションの不足やモチベーションの低下につながっている。	39
⑧ その他	11

※⑧ その他

- ・24時間対応の継続に懸念
- ・24時間体制の維持をするためにスタッフの負担が増大している
- ・急遽休みになった場合1人の職員にかかる負担が大きい。休暇が重なる場合も同様。
- ・24時間対応に関して、人数が少ないため今回改正で提示された「看護業務の負担の軽減に資する十分な業務管理等の条件がクリアできず体制の整備ができていない」がクリアできない。加算が低いほうでしか算定できない。
- ・職員の高齢化
- ・休み希望が叶わないことが生じている
- ・オンコール対応できる職員に限られており負担が大きい
- ・職員全員が55歳以上（65歳以上含む）であり定年を迎えると存続が困難
- ・スタッフ不足、事務もないため管理者が事務業務、訪問をしなければならない。
- ・幼児から小児の子供がいる看護師がほとんどなので急な休み（地域流行）の時の交代要員が確保できない。



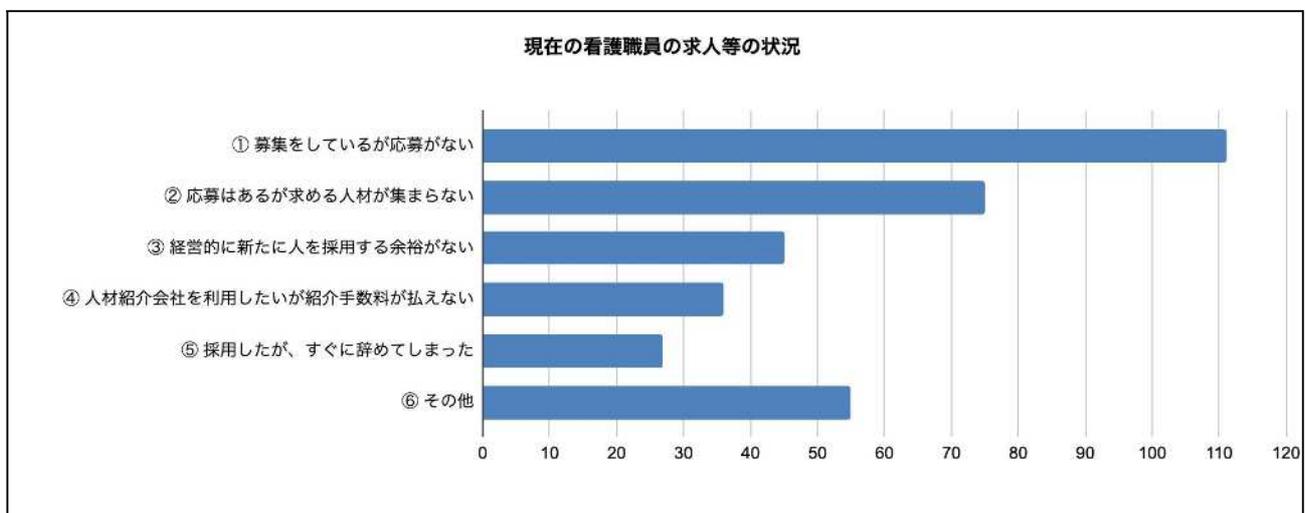
問4 現在の看護職員の求人等の状況について教えてください。(複数回答可)

※無回答を除いた集計 (n=254)

現在の看護職員の求人等の状況について教えてください。(複数回答可)	(単位:事業所)
① 募集をしているが応募がない	111
② 応募はあるが求める人材が集まらない	75
③ 経営的に新たに人を採用する余裕がない	45
④ 人材紹介会社を利用したいが紹介手数料が払えない	36
⑤ 採用したが、すぐに辞めてしまった	27
⑥ その他	55

※⑥ その他

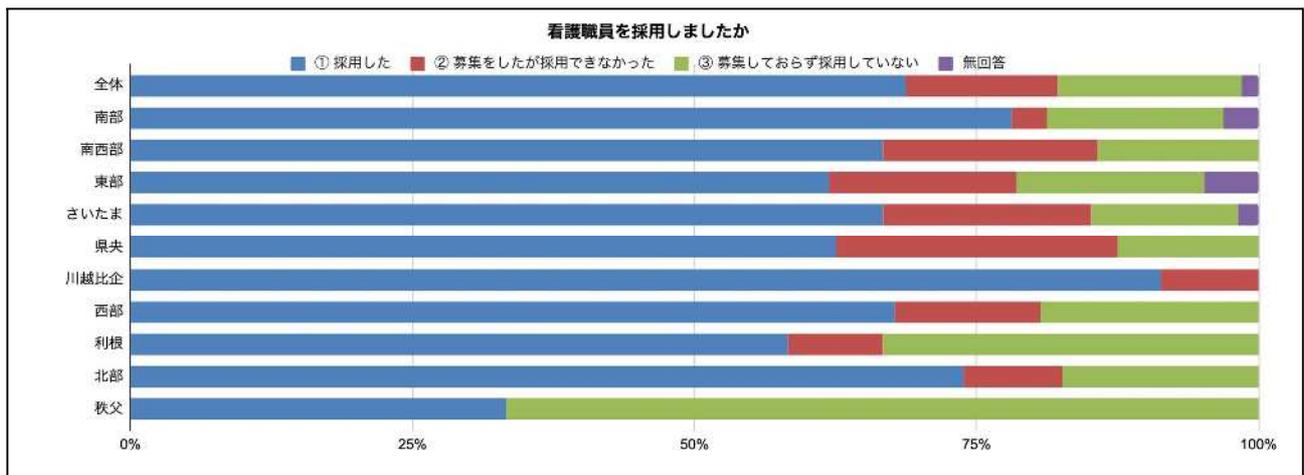
- ・募集をしていない
- ・募集を見合わせている
- ・良い人材があれば採用希望
- ・募集すれば適切な人材が集まる
- ・母体である病院が人事を行っている
- ・ホームページなどを見て直接就職希望の連絡がある時は対応
- ・企業規模を維持するかシュリンクさせていくか自体を悩んでいる。
- ・人材紹介会社からの紹介で入職しても定着せず、紹介料が大きく負担となっている。
- ・充足しているので積極的には採用していないが、良い人材がいれば採用を考える。
- ・求人広告に出していない。すぐ辞めるリスクが高い為。スタッフの人脈紹介。
- ・必要であれば、大学病院から異動がある
- ・必要な時は知人に依頼する
- ・人材紹介会社の紹介料が異常に高額である。
- ・法人が採用しているので詳細不明
- ・緊急対応が出来る人材の応募がない
- ・自主応募あり
- ・採用計画に基づき求人募集している



問5 令和5年4月1日～令和6年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。

令和5年4月1日～令和6年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
① 採用した	185	25	14	26	36	10	21	21	14	17	1
② 募集をしたが採用できなかった	36	1	4	7	10	4	2	4	2	2	0
③ 募集しておらず採用していない	44	5	3	7	7	2	0	6	8	4	2
無回答	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0

令和5年4月1日～令和6年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 採用した	68.8%	78.1%	66.7%	61.9%	66.7%	62.5%	91.3%	67.7%	58.3%	73.9%	33.3%
② 募集をしたが採用できなかった	13.4%	3.1%	19.0%	16.7%	18.5%	25.0%	8.7%	12.9%	8.3%	8.7%	0.0%
③ 募集しておらず採用していない	16.4%	15.6%	14.3%	16.7%	13.0%	12.5%	0.0%	19.4%	33.3%	17.4%	66.7%
無回答	1.5%	3.1%	0.0%	4.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



問5-② 看護職員を採用した人数を教えてください。(問5で「採用した。」と回答した事業所のみ回答)

採用した人数を教えてください。(2次医療圏別階層別集計) (採用した事業所のみ回答) (n=185) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	185	25	14	26	36	10	21	21	14	17	1
1人	75	13	6	11	11	3	9	11	6	5	0
2人以上4人以下	82	10	8	13	17	6	8	8	6	5	1
5人以上	26	1	0	1	8	1	4	2	2	7	0
無回答	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

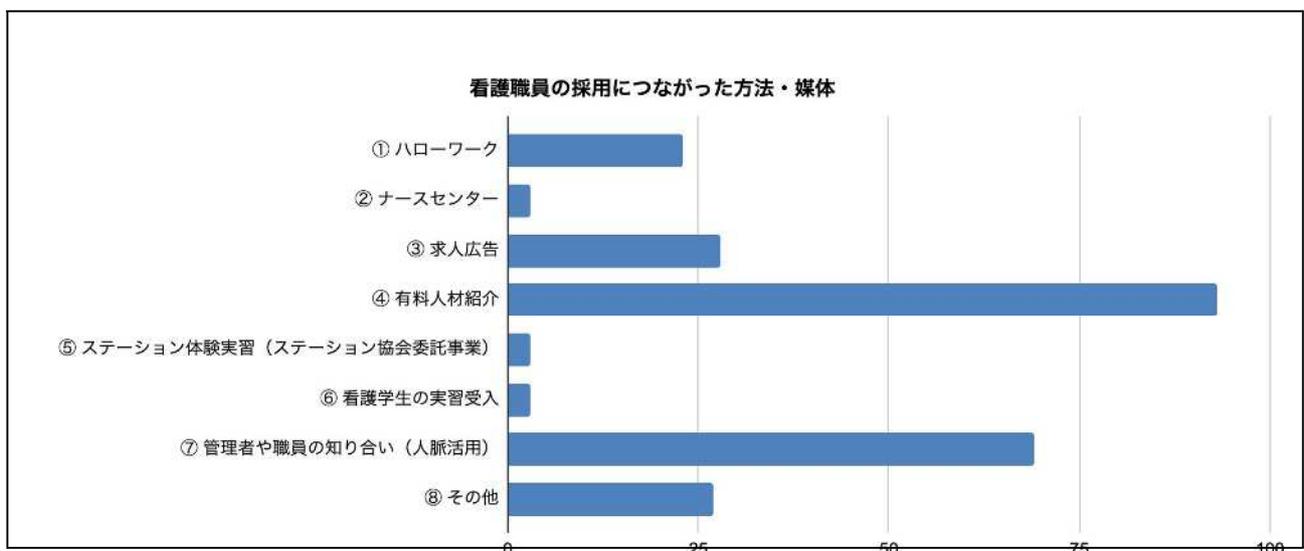
問6 看護職員の採用につながった方法・媒体について教えてください。(複数回答可)

問5で「採用した。」と回答した事業所のみ回答 n=185

看護職員の採用につながった方法・媒体について教えてください。(n=185) (複数回答可) (単位:事業所)	
① ハローワーク	23
② ナースセンター	3
③ 求人広告	28
④ 有料人材紹介	93
⑤ ステーション体験実習(ステーション協会委託事業)	3
⑥ 看護学生の実習受入	3
⑦ 管理者や職員の知り合い(人脈活用)	69
⑧ その他	27

※⑧ その他

- ・直接応募
- ・ホームページ・SNS
- ・同法人の病棟からの異動
- ・事務所に貼ってある求人を見て入職した
- ・関連病院・併設病院からの異動
- ・病院内の人事異動のため
- ・近隣にお住まいの方からの応募
- ・入職アプリ
- ・有料人材紹介を断ったが、後日直接連絡をとり、就職が決まっていなかったため採用した
- ・一度退職した看護師の再入職



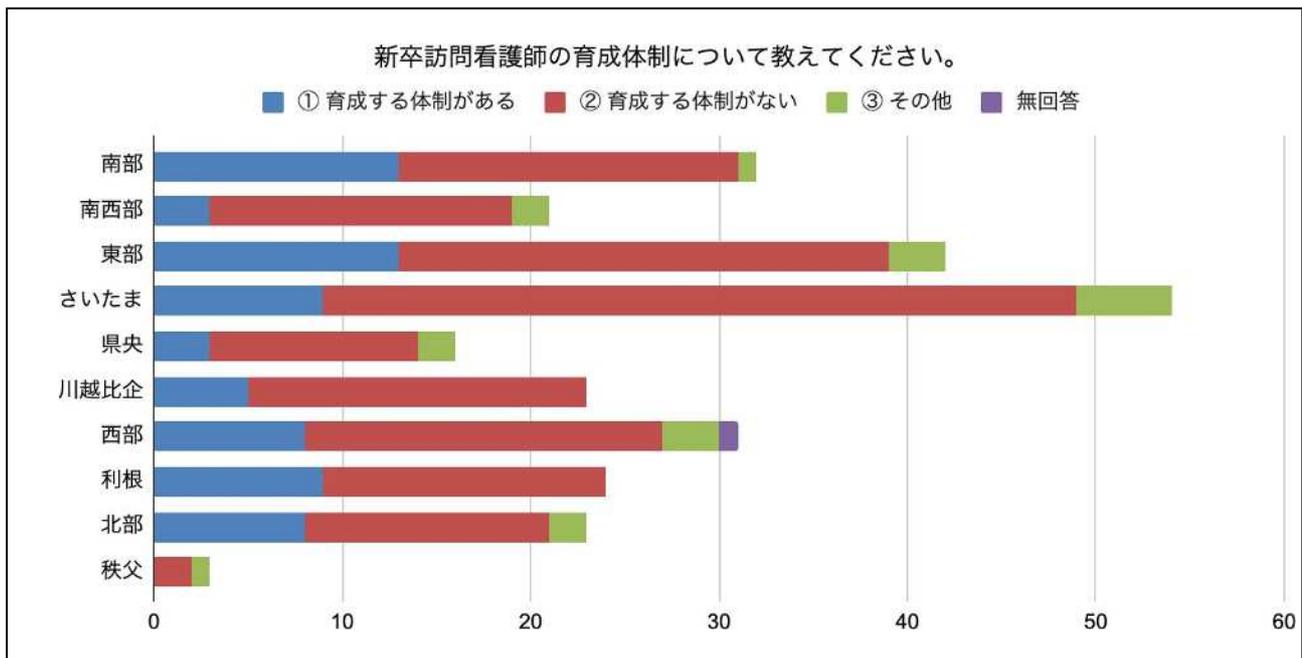
問7 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。

新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
① 育成する体制がある	71	13	3	13	9	3	5	8	9	8	0
② 育成する体制がない	178	18	16	26	40	11	18	19	15	13	2
③ その他	19	1	2	3	5	2	0	3	0	2	1
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。(2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 育成する体制がある	26.4%	40.6%	14.3%	31.0%	16.7%	18.8%	21.7%	25.8%	37.5%	34.8%	0.0%
② 育成する体制がない	66.2%	56.3%	76.2%	61.9%	74.1%	68.8%	78.3%	61.3%	62.5%	56.5%	66.7%
③ その他	7.1%	3.1%	9.5%	7.1%	9.3%	12.5%	0.0%	9.7%	0.0%	8.7%	33.3%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%

※③ その他

- ・育成する体制は作ったが実際には新卒を育成したことがない
- ・ラダーの作成など体制は整えたが、実績がないため評価できていない
- ・準備はあるが、応募がない
- ・現在体制づくりをしている
- ・育成体制の基盤を作っている段階です。今後、新卒訪問看護師の受け入れを積極的に行っていくために、育成体制を整備していく方針です。
- ・新卒の受け入れた実績がない
- ・新卒看護師採用の際に体制整備を行う予定。
- ・新卒者は今のところ受け入れる予定はない。
- ・体制は整っていないが、先輩看護師がついて教えている・配属がない
- ・TMGグループで教育体制はある
- ・現場で看護の経験を積んだ方が、本人にとっても良いという考えに基づき新人は採用しない。
- ・入職希望があれば育成も検討していく。
- ・ほぼ新卒者を昨年採用したので、今後新卒者の採用、育成も検討中です。



問8 令和5年度の退職者(看護職員)について教えてください。

※令和5年4月1日～令和6年3月31日までの看護職員の退職者数(常勤・非常勤)

令和5年度の退職者(看護職員)について教えてください。(n=264) (単位:人、事業所)			
	退職者総数	退職者がいた事業所 1事業所当たり平均退職者数	退職者がいた事業所数
看護師	279	1.79	156
准看護師	31	1.35	23

離職率を把握するため以下の質問にもご回答ください。(n=263) (単位:人)												
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
令和5年4月1日時点の看護職員数	1651	229	148	189	368	102	127	189	135	149	15	0
令和6年3月31日時点の看護職員数	1755	251	151	198	403	109	134	189	145	158	17	0
増減人数	+104	+22	+3	+9	+35	+7	+7	0	+10	+9	+2	0

医療圏別離職率 (単位:%)												
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
平均職員数	1703	240	149.5	193.5	385.5	105.5	130.5	189	140	153.5	16	0
総退職者数	310	40	21	32	66	17	27	34	26	45	2	0
離職率	18.2%	16.7%	14.0%	16.5%	17.1%	16.1%	20.7%	18.0%	18.6%	29.3%	12.5%	0.0%

(計算式)

離職率 = 2023年度総退職者数 / 2023年度の平均職員数 × 100

平均職員数 = (年度当初の在籍職員数 + 年度末の在籍職員数) / 2

3 訪問看護サービスの提供状況について

問9 令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。

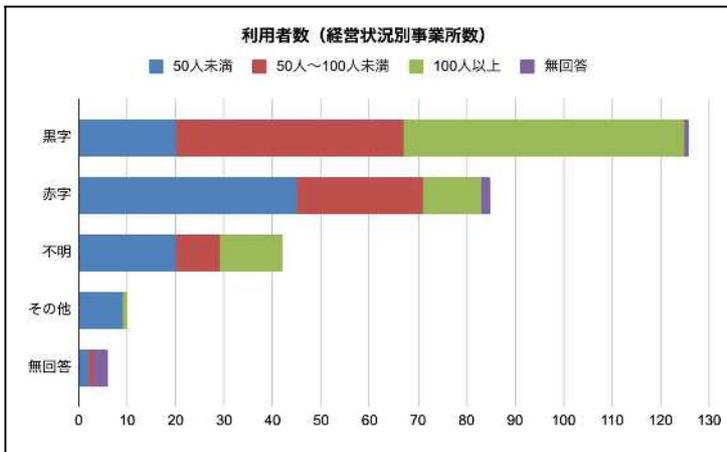
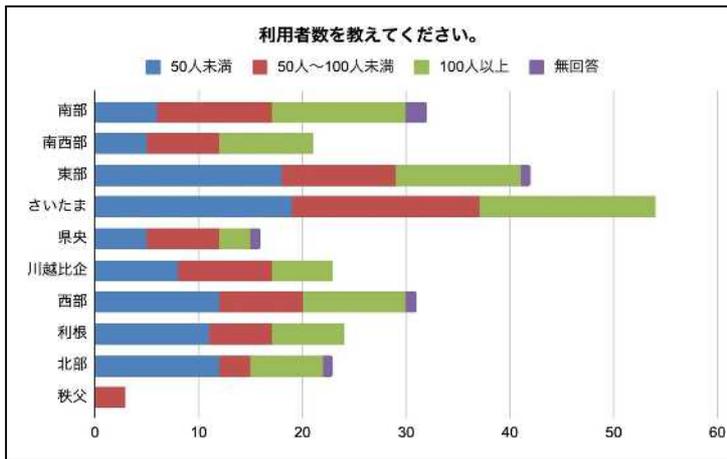
(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

(単位:事業所)

令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別階層別事業所数) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
50人未満	96	6	5	18	19	5	8	12	11	12	0	20	45	20	9	2
50人～100人未満	83	11	7	11	18	7	9	8	6	3	3	47	26	9	0	1
100人以上	84	13	9	12	17	3	6	10	7	7	0	58	12	13	1	0
無回答	6	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	2	0	0	3

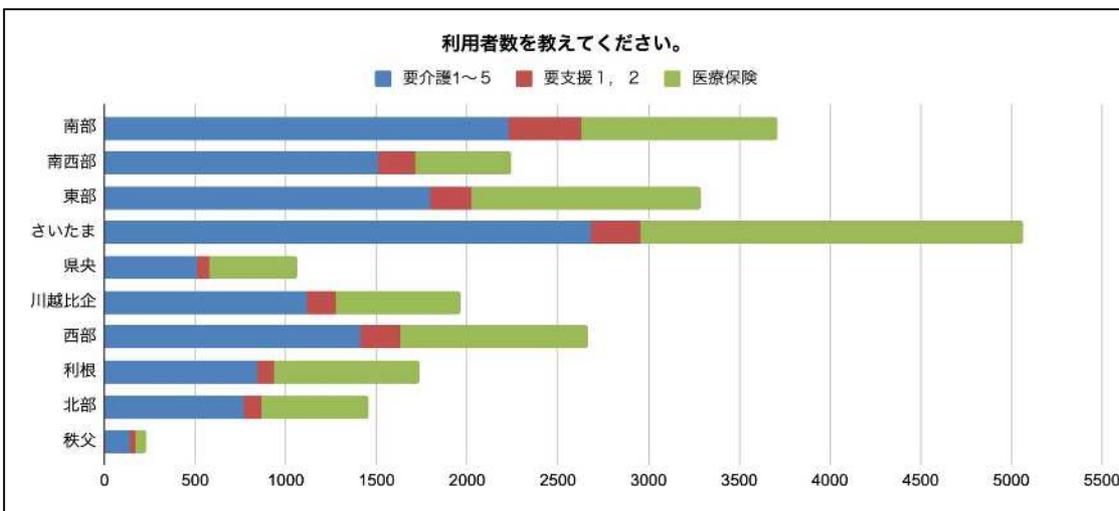
(単位:%)

令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別階層別事業所数割合) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50人未満	35.7%	18.8%	23.8%	42.9%	35.2%	31.3%	34.8%	38.7%	45.8%	52.2%	0.0%	15.9%	52.9%	47.6%	90.0%	33.3%
50人～100人未満	30.9%	34.4%	33.3%	26.2%	33.3%	43.8%	39.1%	25.8%	25.0%	13.0%	100.0%	37.3%	30.6%	21.4%	0.0%	16.7%
100人以上	31.2%	40.6%	42.9%	28.6%	31.5%	18.8%	26.1%	32.3%	29.2%	30.4%	0.0%	46.0%	14.1%	31.0%	10.0%	0.0%
無回答	2.2%	6.3%	0.0%	2.4%	0.0%	6.3%	0.0%	3.2%	0.0%	4.3%	0.0%	0.8%	2.4%	0.0%	0.0%	50.0%



令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。（2次医療圏別保険別利用者数）（単位：人）

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	23,429	3,713	2,242	3,284	5,069	1,063	1,961	2,669	1,739	1,458	231
要介護1～5	13,000	2,229	1,507	1,795	2,682	508	1,117	1,408	847	769	138
要支援1, 2	1,776	402	206	231	273	70	158	221	88	98	29
医療保険	8,653	1,082	529	1,258	2,114	485	686	1,040	804	591	64



令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) (単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	87.1	116.0	106.8	78.2	93.9	66.4	85.3	86.1	72.5	63.4	77.0
要介護1～5	48.3	69.7	71.8	42.7	49.7	31.8	48.6	45.4	35.3	33.4	46.0
要支援1, 2	6.6	12.6	9.8	5.5	5.1	4.4	6.9	7.1	3.7	4.3	9.7
医療保険	32.2	33.8	25.2	30.0	39.1	30.3	29.8	33.5	33.5	25.7	21.3

問9－② 令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(経営状況別集計)

(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

(注)「黒字」または「赤字」と回答した事業所のみの集計

[黒字の事業所]

令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) 黒字事業所(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	114.1	193.1	119.1	96.2	124.1	78.1	81.1	137.5	108.4	74.8	69.5
要介護1～5	61.3	123.6	81.3	46.5	57.6	38.3	41.8	73.7	41.7	40.4	45.5
要支援1, 2	7.5	14.5	11.2	4.2	6.2	4.4	6.2	13.3	4.3	3.8	7.5
医療保険	45.3	55.0	26.6	45.5	60.2	35.3	33.1	50.5	62.4	30.7	16.5

[赤字の事業所]

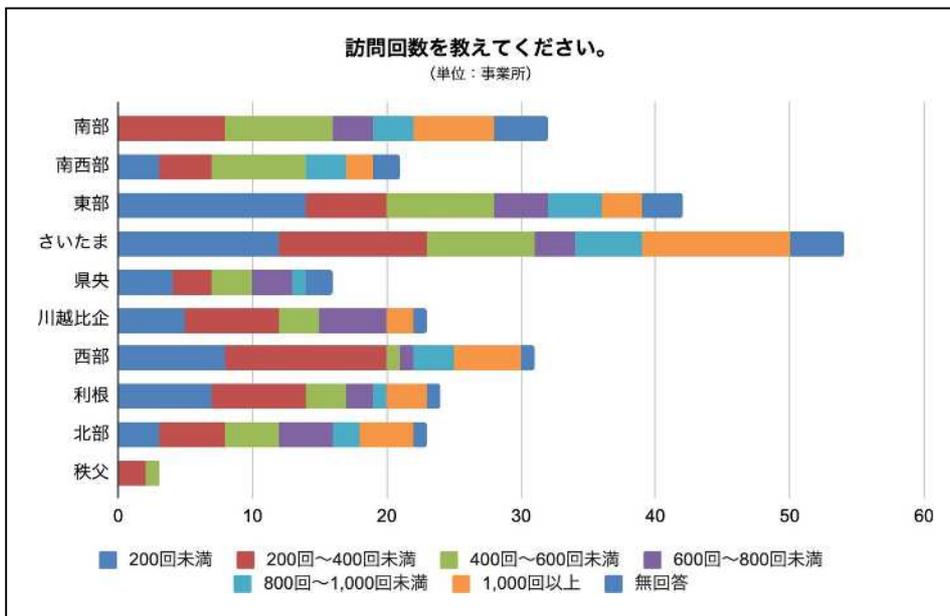
令和6年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) 赤字事業所(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	58.2	63.4	82.2	58.0	70.2	51.8	65.6	44.5	38.5	30.8	92.0
要介護1～5	34.6	33.6	51.0	36.2	46.2	22.8	33.8	26.3	26.1	14.5	47.0
要支援1, 2	4.4	3.8	7.0	4.9	4.4	3.5	5.2	3.4	3.4	2.5	14.0
医療保険	19.2	25.9	24.2	16.9	19.6	25.5	26.6	14.8	9.0	13.8	31.0

問10 令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

[事業所延べ訪問回数]

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=269)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
200回未満	56	0	3	14	12	4	5	8	7	3	0
200回～400回未満	65	8	4	6	11	3	7	12	7	5	2
400回～600回未満	46	8	7	8	8	3	3	1	3	4	1
600回～800回未満	25	3	0	4	3	3	5	1	2	4	0
800回～1,000回未満	22	3	3	4	5	1	0	3	1	2	0
1,000回以上	36	6	2	3	11	0	2	5	3	4	0
無回答	19	4	2	3	4	2	1	1	1	1	0



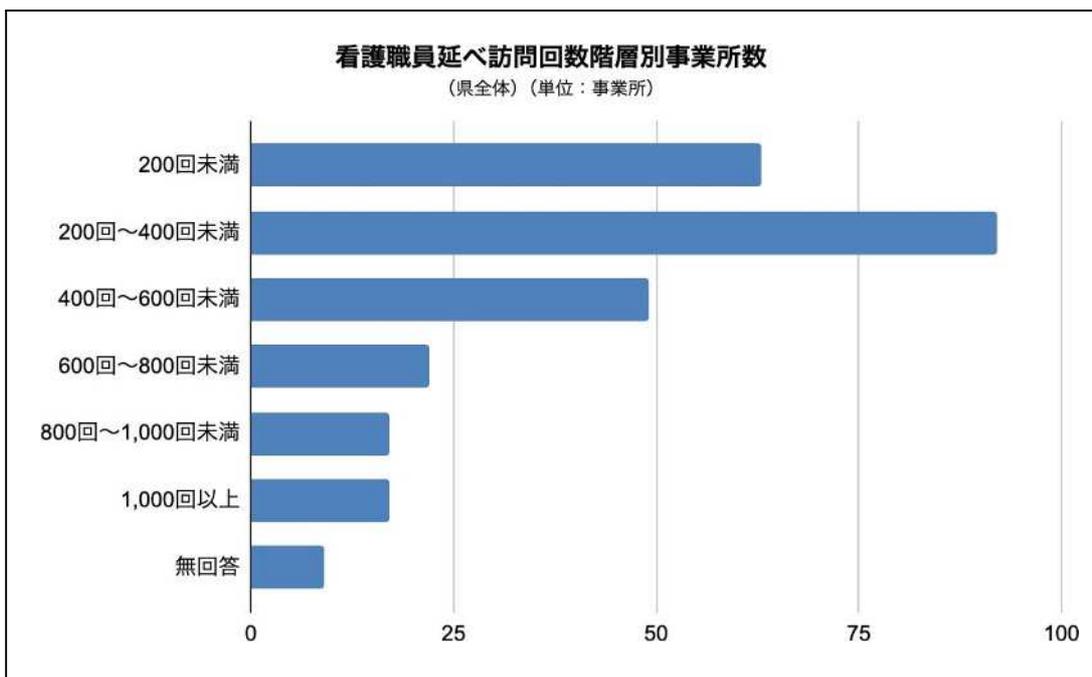
令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別 事業所数割合) (n=269)(単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	20.8%	0.0%	14.3%	33.3%	22.2%	25.0%	21.7%	25.8%	29.2%	13.0%	0.0%
200回～400回未満	24.2%	25.0%	19.0%	14.3%	20.4%	18.8%	30.4%	38.7%	29.2%	21.7%	66.7%
400回～600回未満	17.1%	25.0%	33.3%	19.0%	14.8%	18.8%	13.0%	3.2%	12.5%	17.4%	33.3%
600回～800回未満	9.3%	9.4%	0.0%	9.5%	5.6%	18.8%	21.7%	3.2%	8.3%	17.4%	0.0%
800回～1,000回未満	8.2%	9.4%	14.3%	9.5%	9.3%	6.3%	0.0%	9.7%	4.2%	8.7%	0.0%
1,000回以上	13.4%	18.8%	9.5%	7.1%	20.4%	0.0%	8.7%	16.1%	12.5%	17.4%	0.0%
無回答	7.1%	12.5%	9.5%	7.1%	7.4%	12.5%	4.3%	3.2%	4.2%	4.3%	0.0%

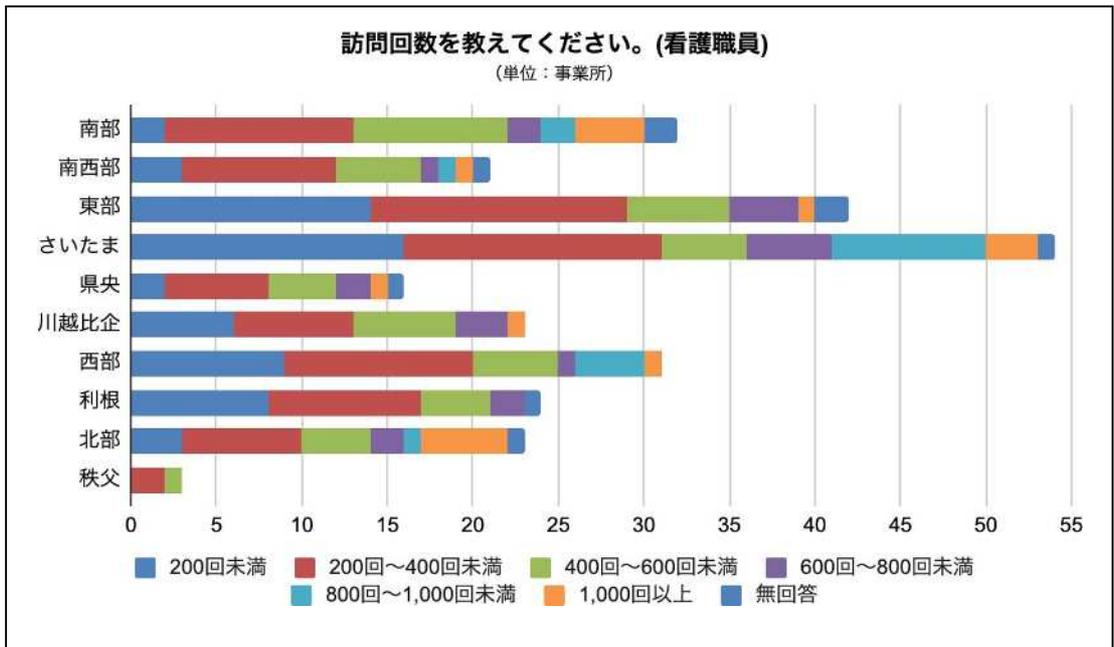
〔職種別延べ訪問回数〕

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(職種別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=269)(単位:事業所)			
	看護職員延べ訪問回数	PTOTST延べ訪問回数	参考:事業所別延べ訪問回数
合計	269	269	269
200回未満	63	163	56
200回～400回未満	92	26	65
400回～600回未満	49	22	46
600回～800回未満	22	4	25
800回～1,000回未満	17	3	22
1,000回以上	17	7	36
無回答	9	44	19

〔看護職員延べ訪問回数〕

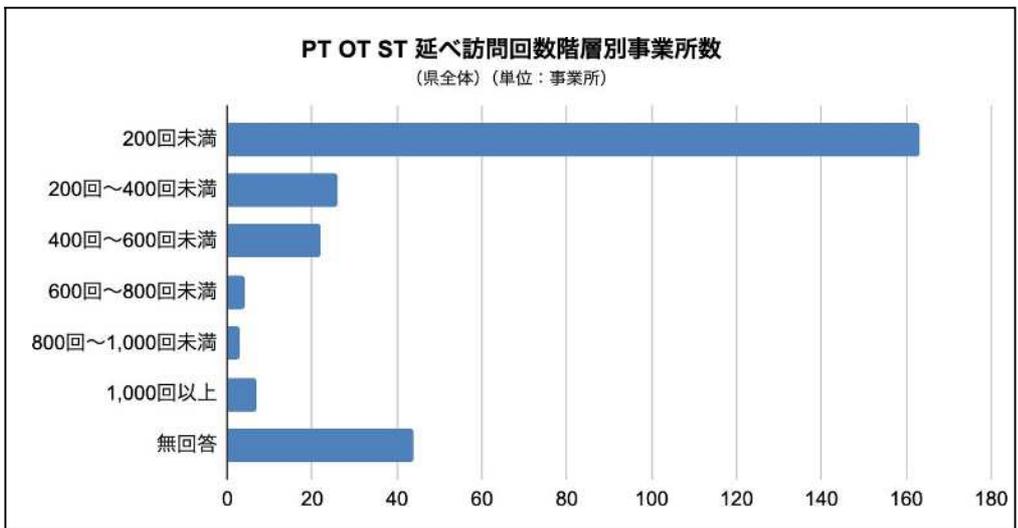
令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 看護職員 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=269)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
200回未満	63	2	3	14	16	2	6	9	8	3	0
200回～400回未満	92	11	9	15	15	6	7	11	9	7	2
400回～600回未満	49	9	5	6	5	4	6	5	4	4	1
600回～800回未満	22	2	1	4	5	2	3	1	2	2	0
800回～1,000回未満	17	2	1	0	9	0	0	4	0	1	0
1,000回以上	17	4	1	1	3	1	1	1	0	5	0
無回答	9	2	1	2	1	1	0	0	1	1	0





〔PT OT ST 延べ訪問回数〕

令和6年6月中(6/1~6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 PT OT ST 延べ訪問回数階層別 事業所数)(n=269)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
200回未満	163	20	15	18	28	13	18	17	17	14	3
200回~400回未満	26	1	0	10	3	2	2	2	3	3	0
400回~600回未満	22	4	1	3	7	0	0	4	1	2	0
600回~800回未満	4	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
800回~1,000回未満	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
1,000回以上	7	1	2	2	1	0	1	0	0	0	0
無回答	44	5	2	9	13	1	1	7	3	3	0



問10-② 令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(経営状況別)

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

〔経営状況別 事業所延べ訪問回数〕

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数(経営状況別事業所延べ訪問回数階層別事業所数) (n=269)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	126	85	42	10	6
200回未満	8	28	13	6	1
200回～400回未満	26	25	13	1	0
400回～600回未満	28	16	2	0	0
600回～800回未満	17	6	2	0	0
800回～1,000回未満	13	5	4	0	0
1,000回以上	25	2	7	2	0
無回答	9	3	1	1	5

〔経営状況別 看護職員延べ訪問回数〕

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数(経営状況別看護職員延べ訪問回数階層別事業所数) (n=269)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	126	85	42	10	6
200回未満	9	34	13	5	2
200～400未満	46	28	16	2	0
400～600未満	30	15	3	1	0
600～800未満	14	5	3	0	0
800～1000未満	11	2	4	0	0
1000以上	13	0	3	1	0
無回答	3	1	0	1	4

〔経営状況別 PT OT ST 延べ訪問回数〕

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(経営状況別PTOTST延べ訪問回数階層別事業所数) (n=269)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	126	85	42	10	6
200回未満	71	60	24	7	1
200回～400回未満	18	7	1	0	0
400回～600回未満	11	4	7	0	0
600回～800回未満	2	1	1	0	0
800回～1,000回未満	2	0	1	0	0
1,000回以上	5	0	1	1	0
無回答	17	13	7	2	5

問10-③ 令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。

(保険別・看護職員 PT OT ST 別)

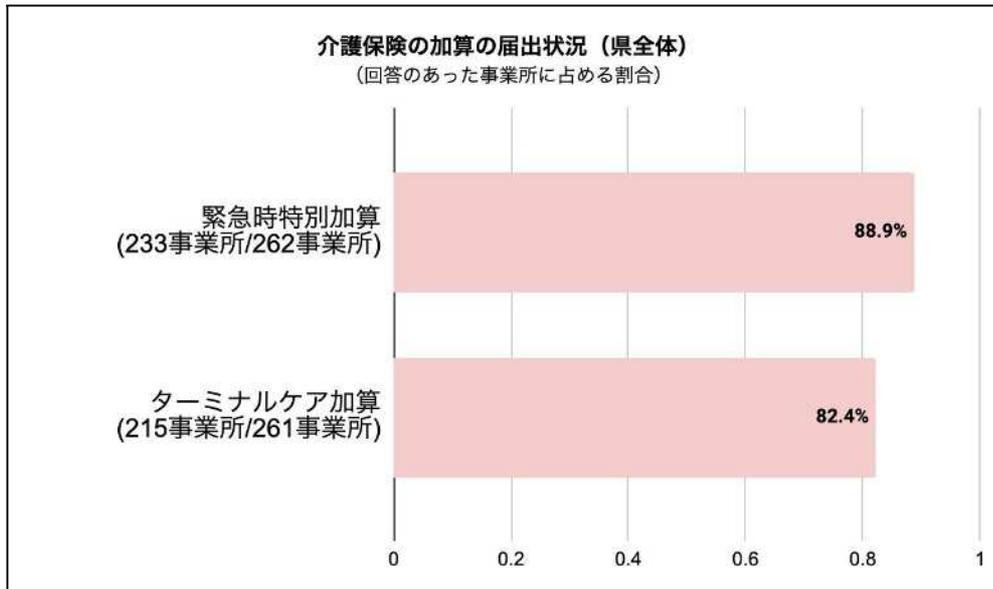
(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数 (保険別 看護職員PTOTST別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=269)(単位:事業所)									
	看護職員 (要介護1～5)	看護職員 (要支援1.2)	看護職員 (医療保険)	看護職員 延べ訪問回数	PTOTST (要介護1～5)	PTOTST (要支援1.2)	PTOTST (医療保険)	PTOTST 延べ訪問回数	事業所 延べ訪問回数
合計	269	269	269	269	269	269	269	269	269
200回未満	146	241	168	63	178	216	205	163	56
200回～400回未満	76	0	58	92	29	0	13	26	65
400回～600回未満	19	0	14	49	8	1	4	22	46
600回～800回未満	6	0	4	22	2	1	1	4	25
800回～1,000回未満	3	0	6	17	1	0	0	3	22
1,000回以上	4	0	6	17	6	0	0	7	36
無回答	15	28	13	9	45	51	46	44	19

令和6年6月中(6/1～6/30)の訪問回数 (保険別 看護職員PTOTST別 延べ訪問回数階層別 事業所数割合) (n=269)(単位:%)									
	看護職員 (要介護1～5)	看護職員 (要支援1.2)	看護職員 (医療保険)	看護職員 延べ訪問回数	PTOTST (要介護1～5)	PTOTST (要支援1.2)	PTOTST (医療保険)	PTOTST 延べ訪問回数	事業所 延べ訪問回数
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	54.3%	89.6%	62.5%	23.4%	66.2%	80.3%	76.2%	60.6%	20.8%
200回～400回未満	28.3%	0.0%	21.6%	34.2%	10.8%	0.0%	4.8%	9.7%	24.2%
400回～600回未満	7.1%	0.0%	5.2%	18.2%	3.0%	0.4%	1.5%	8.2%	17.1%
600回～800回未満	2.2%	0.0%	1.5%	8.2%	0.7%	0.4%	0.4%	1.5%	9.3%
800回～1,000回未満	1.1%	0.0%	2.2%	6.3%	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%	8.2%
1,000回以上	1.5%	0.0%	2.2%	6.3%	2.2%	0.0%	0.0%	2.6%	13.4%
無回答	5.6%	10.4%	4.8%	3.3%	16.7%	19.0%	17.1%	16.4%	7.1%

問11 介護保険及び医療保険の加算の届出状況と令和6年6月中(6/1～6/30)の請求実績を教えてください。(無回答の事業所を除いた集計)

[介護保険の加算の届出(県全体)] 緊急時訪問看護加算 (n=262) ターミナルケア加算(n=261)



[介護保険の加算の届出(2次医療圏別)]

介護保険の加算の届出状況 (2次医療圏別割合) (単位:%) (緊急時訪問看護加算 n=262 ターミナルケア加算 n=261)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算(233事業所/262事業所)	88.9%	96.7%	95.0%	85.0%	88.9%	81.3%	87.0%	93.3%	87.0%	82.6%	100.0%
ターミナルケア加算(215事業所/261事業所)	82.4%	96.7%	90.0%	72.5%	83.3%	80.0%	78.3%	83.9%	78.3%	77.3%	100.0%

介護保険の加算の届出をしている事業所の請求実績(2次医療圏別合計利用実人数)(単位:人) (緊急時訪問看護加算 n=233 ターミナルケア加算 n=215)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算	9,601	1,525	933	879	2,259	502	917	1,322	613	540	111
ターミナルケア加算	191	120	14	13	20	4	2	3	5	9	1

[介護保険の加算の請求実績(1事業所当たり平均実人数)]

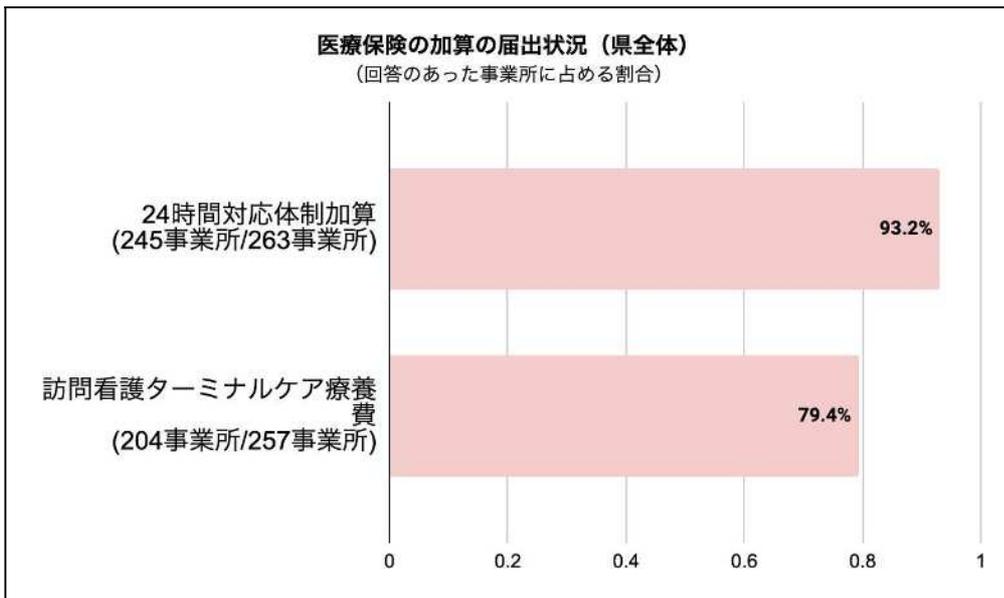
緊急時訪問看護加算 (n=233) ターミナルケア加算(n=215)

介護保険の加算の届出をしている事業所の請求実績(2次医療圏別1事業所あたり平均利用実人数)(単位:人) (緊急時訪問看護加算 n=233 ターミナルケア加算 n=215)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算	41.2	52.6	49.1	25.9	47.1	38.6	45.9	47.2	30.7	28.4	37.0
ターミナルケア加算	0.9	4.1	0.8	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	0.5	0.3

緊急時訪問看護加算を届け出ている事業所は、全体の88.9%。

ターミナルケア加算を届け出ている事業所は、全体の82.4%である。

[医療保険の加算の届出(県全体)] 24時間対応体制加算 (n=263) 訪問看護ターミナルケア療養費(n=257)



[医療保険の加算の届出(2次医療圏別)]

医療保険の加算の届出状況 (2次医療圏別割合) (単位:%) (24時間対応体制加算 n=263 訪問看護ターミナルケア療養費 n=257)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算(245事業所/263事業所)	93.2%	96.7%	90.0%	90.2%	98.1%	93.8%	95.7%	96.7%	87.5%	81.8%	100.0%
訪問看護ターミナルケア療養費(204事業所/257事業所)	79.4%	93.3%	90.0%	71.1%	83.0%	81.3%	78.3%	76.7%	65.2%	71.4%	100.0%

医療保険の加算の届出をしている事業所の請求実績 (2次医療圏別合計利用実人数)(単位:人)											
(24時間対応体制加算 n=245 訪問看護ターミナルケア療養費 n=204)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算	5625	846	399	699	1346	324	474	814	349	329	45
訪問看護ターミナルケア療養費	371	37	26	134	73	14	22	21	9	30	5

[医療保険の加算の請求実績(1事業所当たり平均実人数)]

24 時間対応体制加算 (n=245) ターミナルケア療養費(n=204)

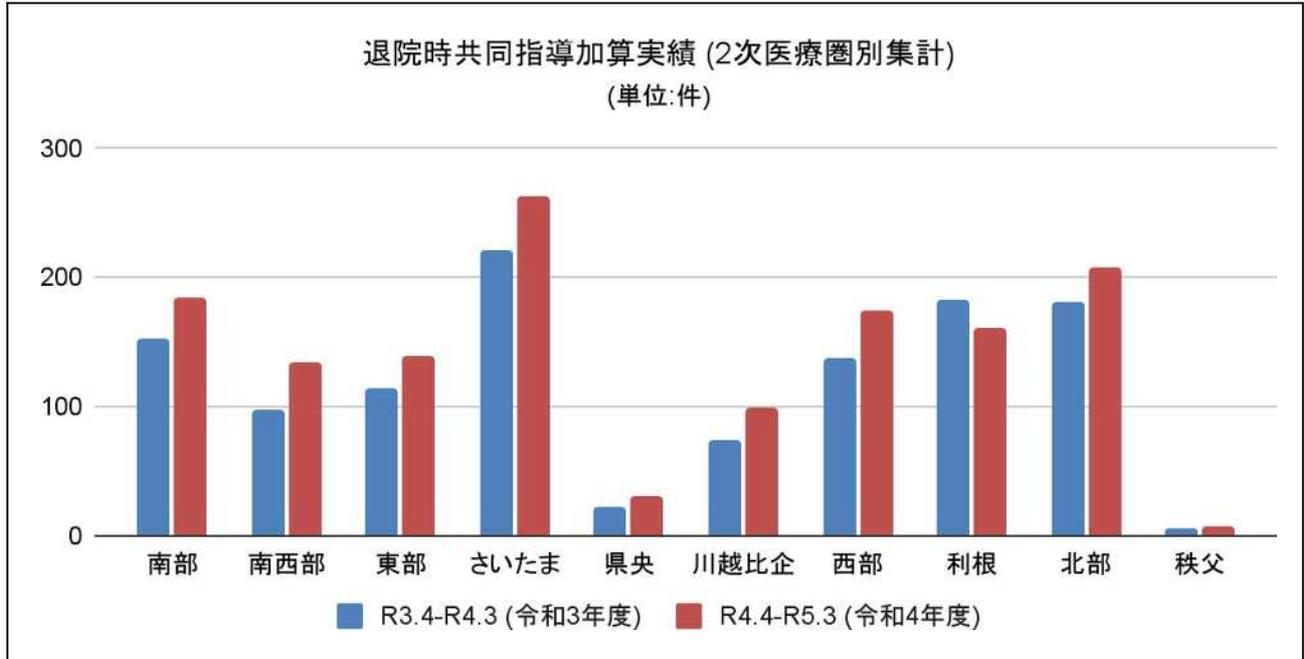
医療保険の加算の届出をしている事業所の請求実績 (2次医療圏別1事業所あたり平均利用実人数)(単位:人)											
(24時間対応体制加算 n=245 訪問看護ターミナルケア療養費 n=204)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算	23.0	29.2	22.2	18.9	25.4	21.6	21.5	28.1	16.6	18.3	15.0
訪問看護ターミナルケア療養費	1.8	1.3	1.4	5.0	1.7	1.1	1.2	0.9	0.6	2.0	1.7

24 時間対応体制加算を届け出ている事業所は、全体の93.2%。

訪問看護ターミナルケア療養費を届け出ている事業所は、全体の79.4%である。

問 12 医療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績)について教えてください。

医療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績) (2次医療圏別加算件数) (令和4年度 n=242 令和5年度 n=247) (単位:件)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
R4.4-R5.3 (令和4年度)	1191	153	98	114	222	23	74	137	183	181	6
R5.4-R6.3 (令和5年度)	1402	184	135	139	263	31	100	174	161	208	7

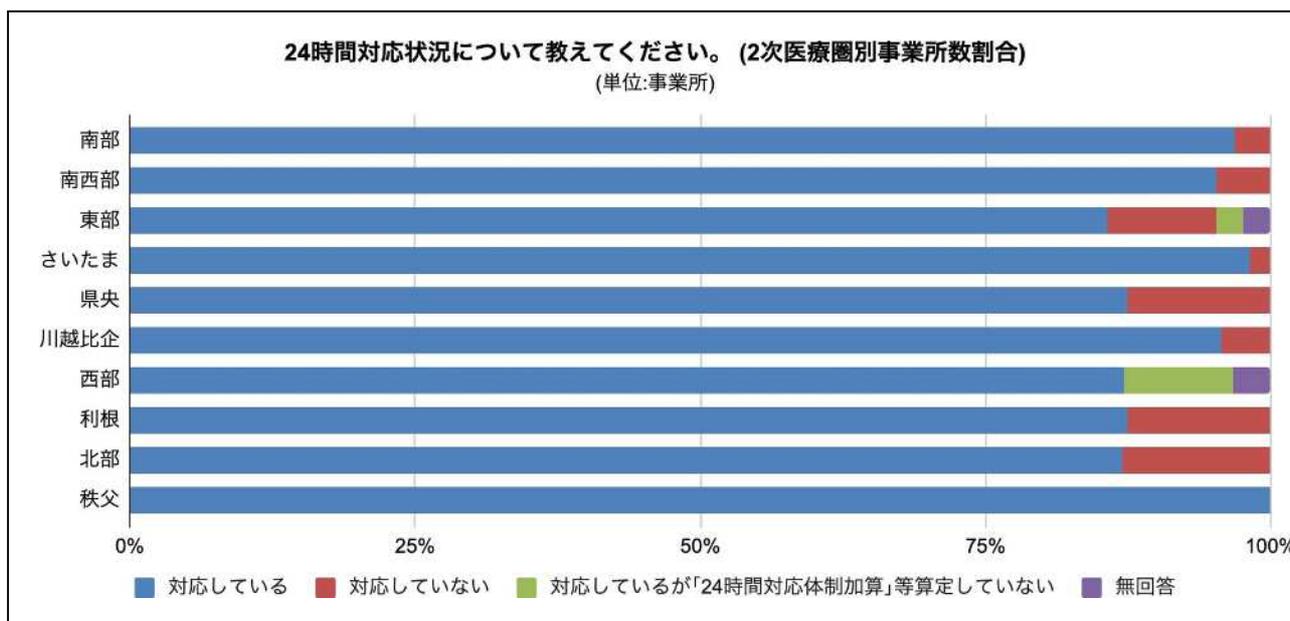


問13 24時間対応状況について教えてください。

(「24時間対応体制加算」「緊急時訪問看護加算」を届出していますか。)

24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
① 対応している	247	31	20	36	53	14	22	27	21	20	3
② 対応していない	16	1	1	4	1	2	1	0	3	3	0
③ 対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	4	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
無回答	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0

24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 対応している	91.8%	96.9%	95.2%	85.7%	98.1%	87.5%	95.7%	87.1%	87.5%	87.0%	100.0%
② 対応していない	5.9%	3.1%	4.8%	9.5%	1.9%	12.5%	4.3%	0.0%	12.5%	13.0%	0.0%
③ 対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	1.5%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%



24時間対応状況については、91.8%の事業所が対応しており、対応していない事業所は5.9%であった。

問13-② 24時間対応していない理由を教えてください。(対応していない事業所のみ回答)

24時間対応していない理由(複数回答可) n=16 (単位:事業所)	
ア. スタッフが少なく、対応できない	10
イ. 人数的に対応可能だが、スタッフの負担を考慮し対応していない	4
ウ. 24時間対応を必要とする利用者がいない	1
エ. その他	3

※エ. その他

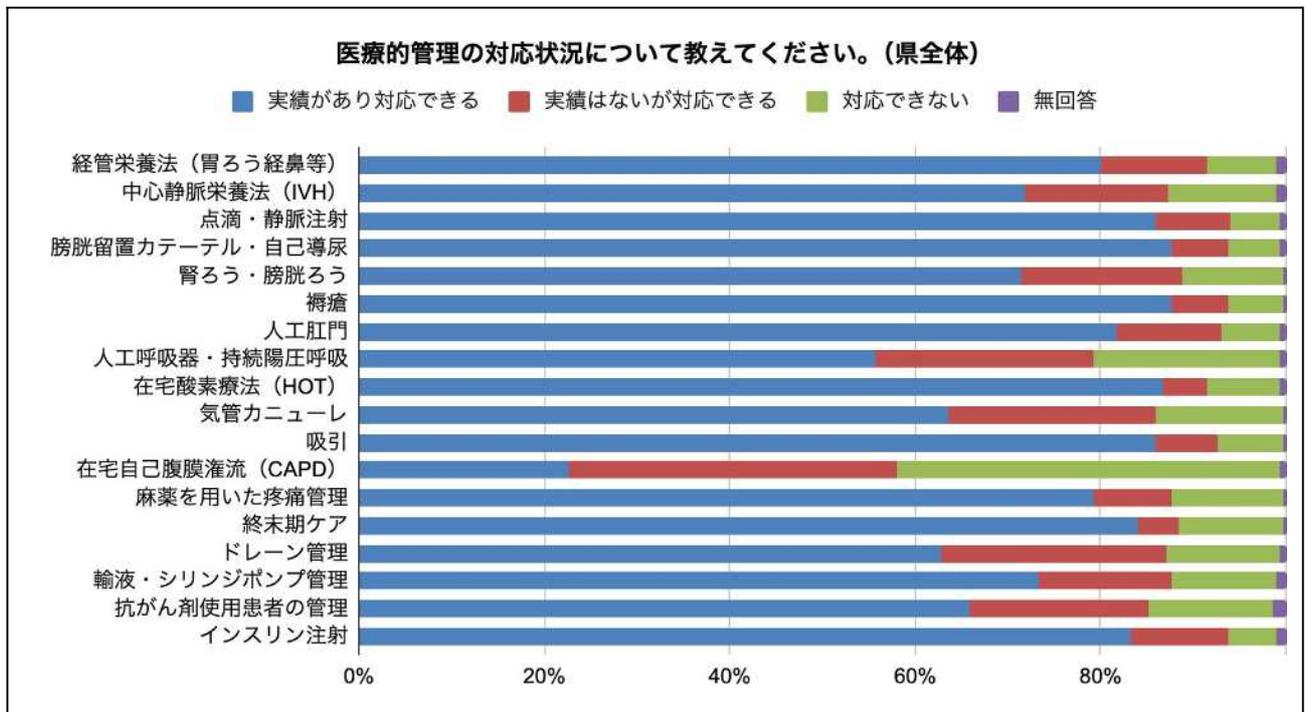
- ・オープンしたばかりでまだ体制が整っていない。
- ・母体の経営方針
- ・看護師院内移動で体制が整っていない

問13-③ 待機当番は月平均何日ありますか。

待機当番は月平均何日ありますか n=261 (単位:事業所)		
	スタッフ	管理者
① 待機当番なし	40	47
② 8日未満	105	68
③ 8日以上	105	111
④ 毎日	10	31

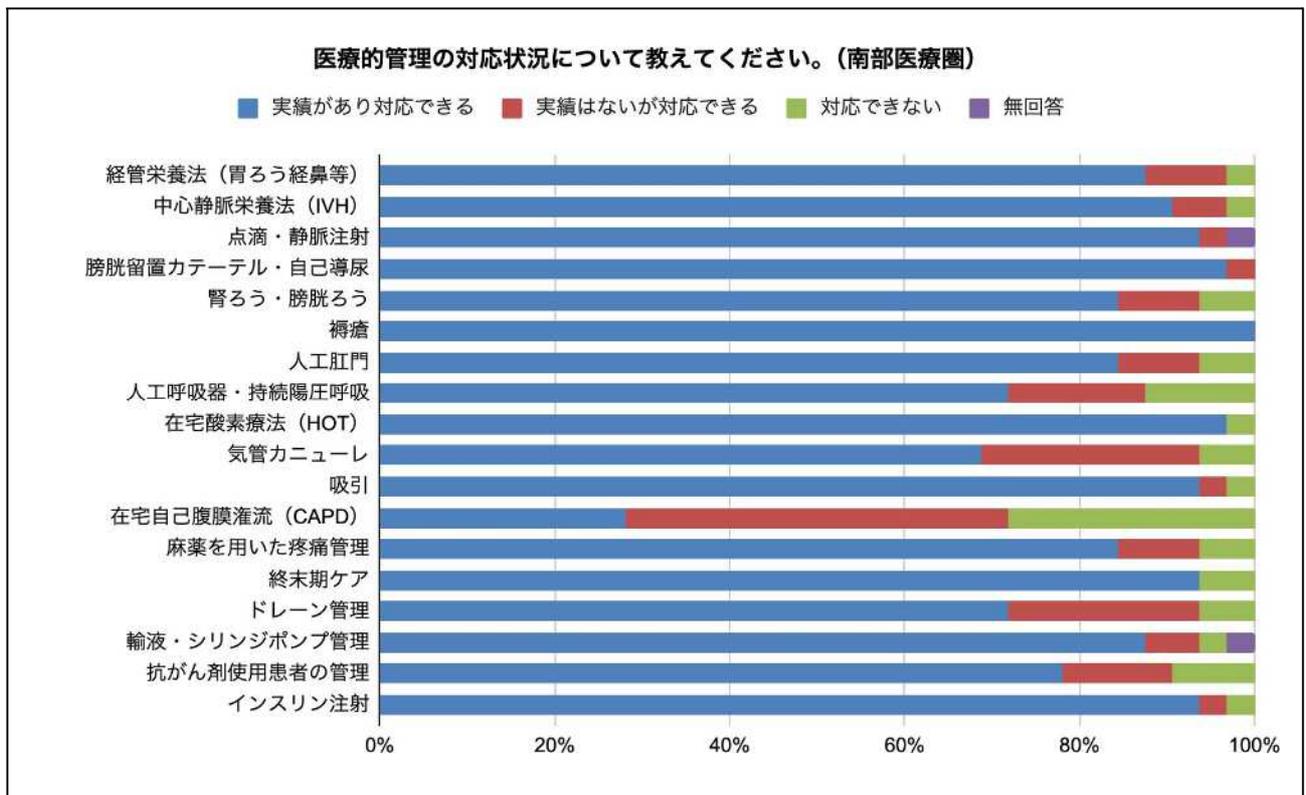
問14 医療的管理の対応状況について教えてください。

医療的管理の対応状況について教えてください。(埼玉県全体における事業所割合) (n=269) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	79.9%	11.5%	7.4%	1.1%
中心静脈栄養法 (IVH)	71.7%	15.6%	11.5%	1.1%
点滴・静脈注射	85.9%	8.2%	5.2%	0.7%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	87.7%	5.9%	5.6%	0.7%
腎ろう・膀胱ろう	71.4%	17.5%	10.8%	0.4%
褥瘡	87.7%	5.9%	5.9%	0.4%
人工肛門	81.8%	11.2%	6.3%	0.7%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	55.8%	23.4%	20.1%	0.7%
在宅酸素療法 (HOT)	86.6%	4.8%	7.8%	0.7%
気管カニューレ	63.6%	22.3%	13.8%	0.4%
吸引	85.9%	6.7%	7.1%	0.4%
在宅自己腹膜灌流 (CAPD)	22.7%	35.3%	41.3%	0.7%
麻薬を用いた疼痛管理	79.2%	8.6%	11.9%	0.4%
終末期ケア	84.0%	4.5%	11.2%	0.4%
ドレーン管理	62.8%	24.2%	12.3%	0.7%
輸液・シリンジポンプ管理	73.2%	14.5%	11.2%	1.1%
抗がん剤使用患者の管理	65.8%	19.3%	13.4%	1.5%
インスリン注射	83.3%	10.4%	5.2%	1.1%



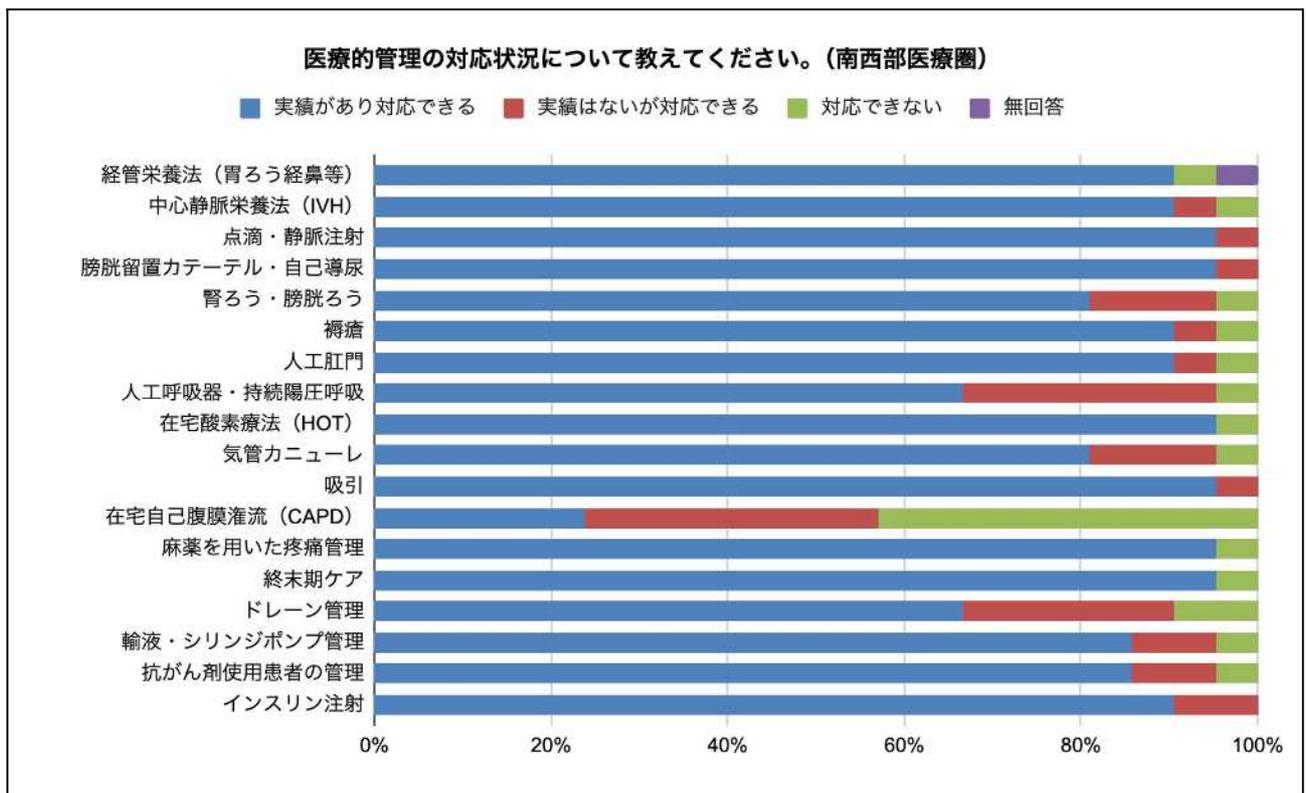
[南部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(南部医療圏における事業所割合) (n=32) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	87.5%	9.4%	3.1%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	90.6%	6.3%	3.1%	0.0%
点滴・静脈注射	93.8%	3.1%	0.0%	3.1%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	84.4%	9.4%	6.3%	0.0%
褥瘡	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工肛門	84.4%	9.4%	6.3%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	71.9%	15.6%	12.5%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	96.9%	0.0%	3.1%	0.0%
気管カニューレ	68.8%	25.0%	6.3%	0.0%
吸引	93.8%	3.1%	3.1%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	28.1%	43.8%	28.1%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	84.4%	9.4%	6.3%	0.0%
終末期ケア	93.8%	0.0%	6.3%	0.0%
ドレーン管理	71.9%	21.9%	6.3%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	87.5%	6.3%	3.1%	3.1%
抗がん剤使用患者の管理	78.1%	12.5%	9.4%	0.0%
インスリン注射	93.8%	3.1%	3.1%	0.0%



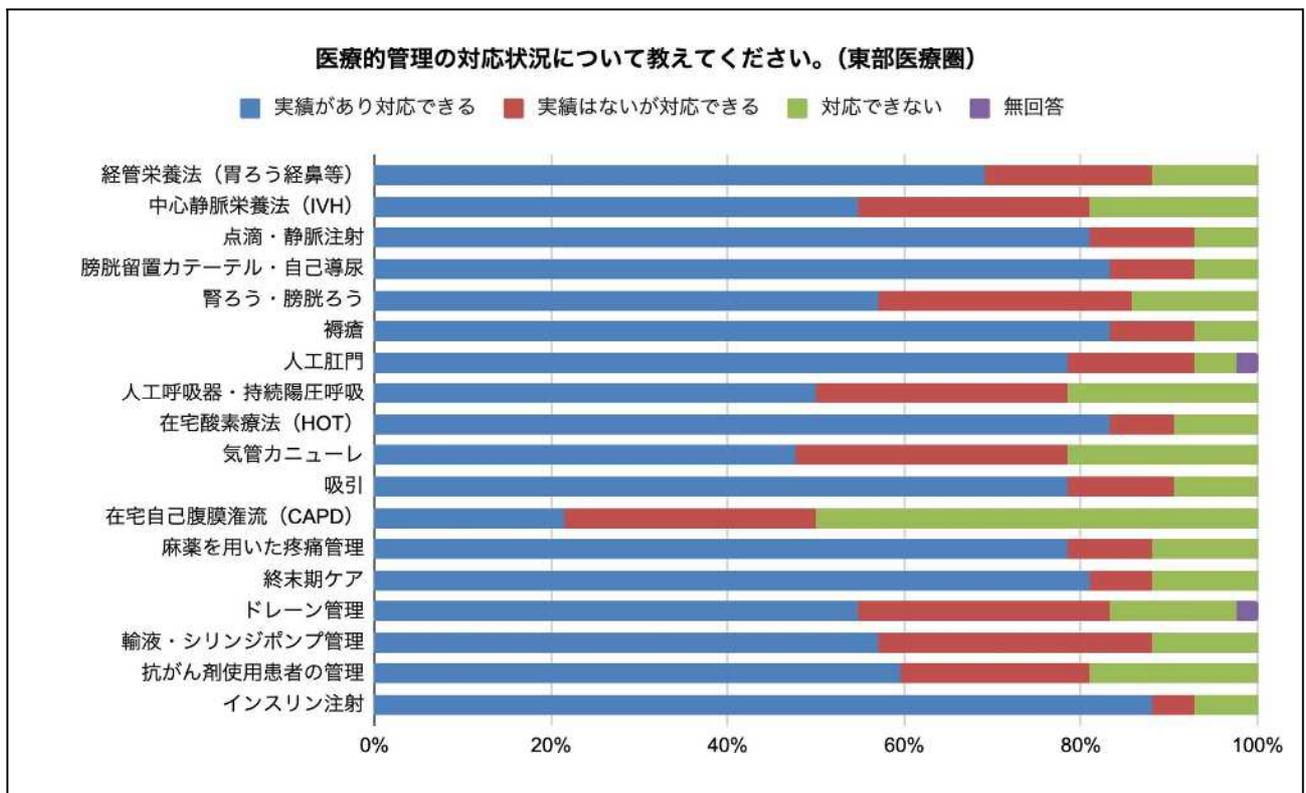
[南西部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(南西部医療圏における事業所割合) (n=21) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	90.5%	0.0%	4.8%	4.8%
中心静脈栄養法(IVH)	90.5%	4.8%	4.8%	0.0%
点滴・静脈注射	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%
褥瘡	90.5%	4.8%	4.8%	0.0%
人工肛門	90.5%	4.8%	4.8%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%
気管カニューレ	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%
吸引	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	23.8%	33.3%	42.9%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%
終末期ケア	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%
ドレーン管理	66.7%	23.8%	9.5%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	85.7%	9.5%	4.8%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	85.7%	9.5%	4.8%	0.0%
インスリン注射	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%



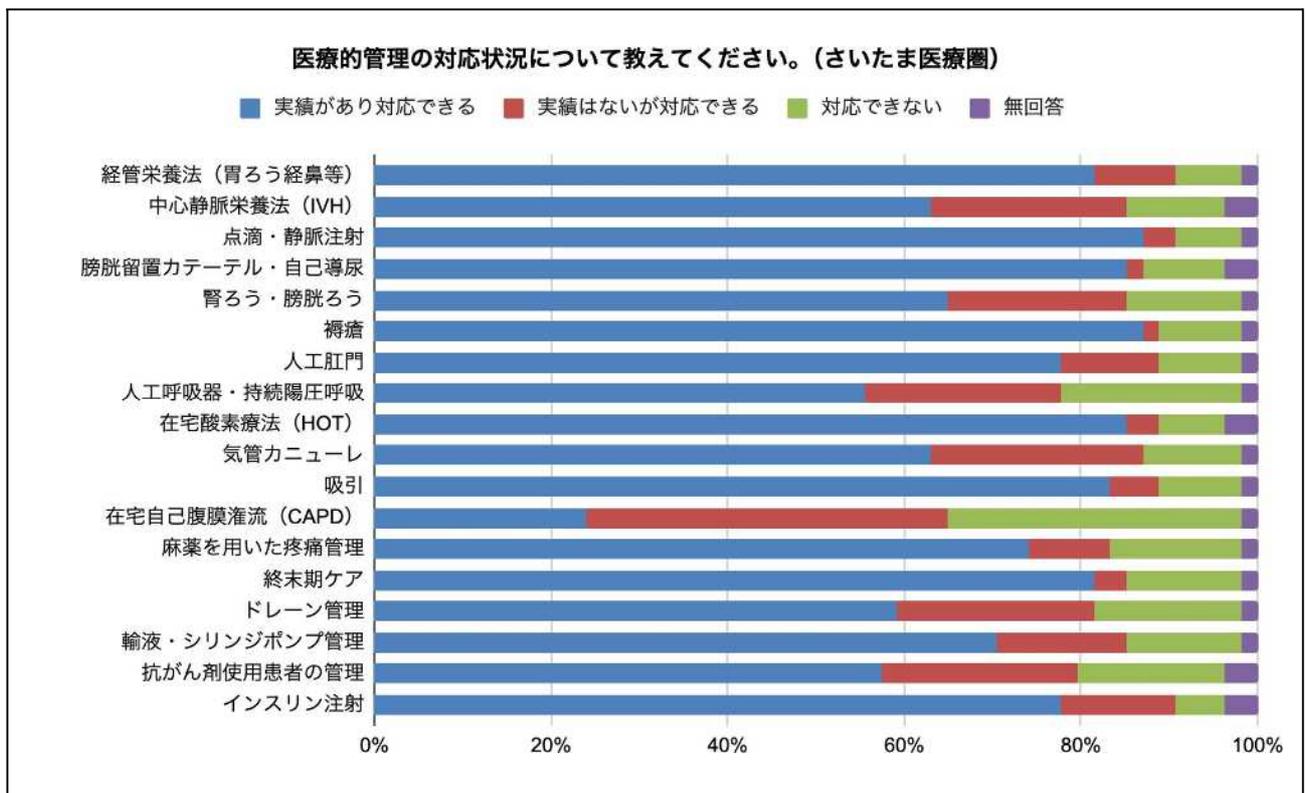
[東部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(東部医療圏における事業所割合) (n=42) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	69.0%	19.0%	11.9%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	54.8%	26.2%	19.0%	0.0%
点滴・静脈注射	81.0%	11.9%	7.1%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	83.3%	9.5%	7.1%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
褥瘡	83.3%	9.5%	7.1%	0.0%
人工肛門	78.6%	14.3%	4.8%	2.4%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	83.3%	7.1%	9.5%	0.0%
気管カニューレ	47.6%	31.0%	21.4%	0.0%
吸引	78.6%	11.9%	9.5%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	21.4%	28.6%	50.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	78.6%	9.5%	11.9%	0.0%
終末期ケア	81.0%	7.1%	11.9%	0.0%
ドレーン管理	54.8%	28.6%	14.3%	2.4%
輸液・シリンジポンプ管理	57.1%	31.0%	11.9%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	59.5%	21.4%	19.0%	0.0%
インスリン注射	88.1%	4.8%	7.1%	0.0%



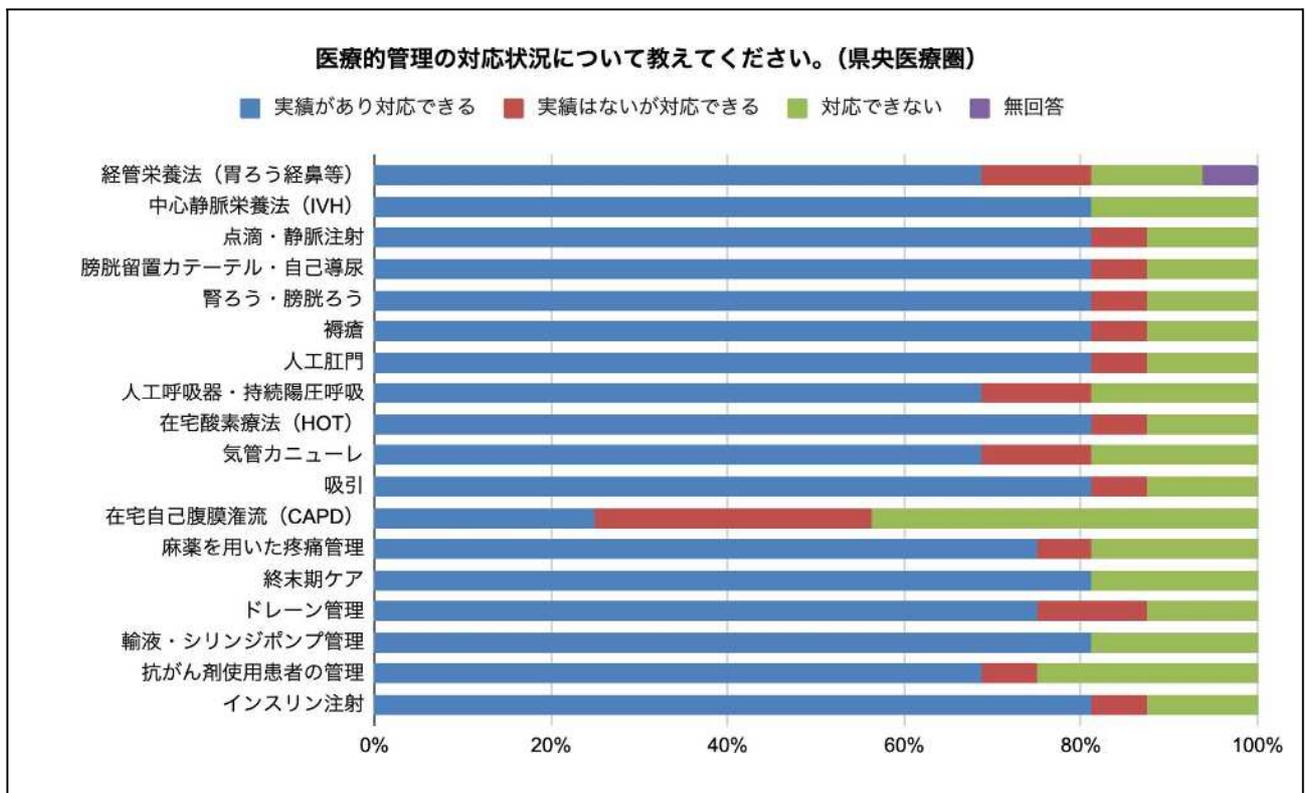
[さいたま医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(さいたま医療圏における事業所割合) (n=54) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	81.5%	9.3%	7.4%	1.9%
中心静脈栄養法(IVH)	63.0%	22.2%	11.1%	3.7%
点滴・静脈注射	87.0%	3.7%	7.4%	1.9%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	85.2%	1.9%	9.3%	3.7%
腎ろう・膀胱ろう	64.8%	20.4%	13.0%	1.9%
褥瘡	87.0%	1.9%	9.3%	1.9%
人工肛門	77.8%	11.1%	9.3%	1.9%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	55.6%	22.2%	20.4%	1.9%
在宅酸素療法(HOT)	85.2%	3.7%	7.4%	3.7%
気管カニューレ	63.0%	24.1%	11.1%	1.9%
吸引	83.3%	5.6%	9.3%	1.9%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	24.1%	40.7%	33.3%	1.9%
麻薬を用いた疼痛管理	74.1%	9.3%	14.8%	1.9%
終末期ケア	81.5%	3.7%	13.0%	1.9%
ドレーン管理	59.3%	22.2%	16.7%	1.9%
輸液・シリンジポンプ管理	70.4%	14.8%	13.0%	1.9%
抗がん剤使用患者の管理	57.4%	22.2%	16.7%	3.7%
インスリン注射	77.8%	13.0%	5.6%	3.7%



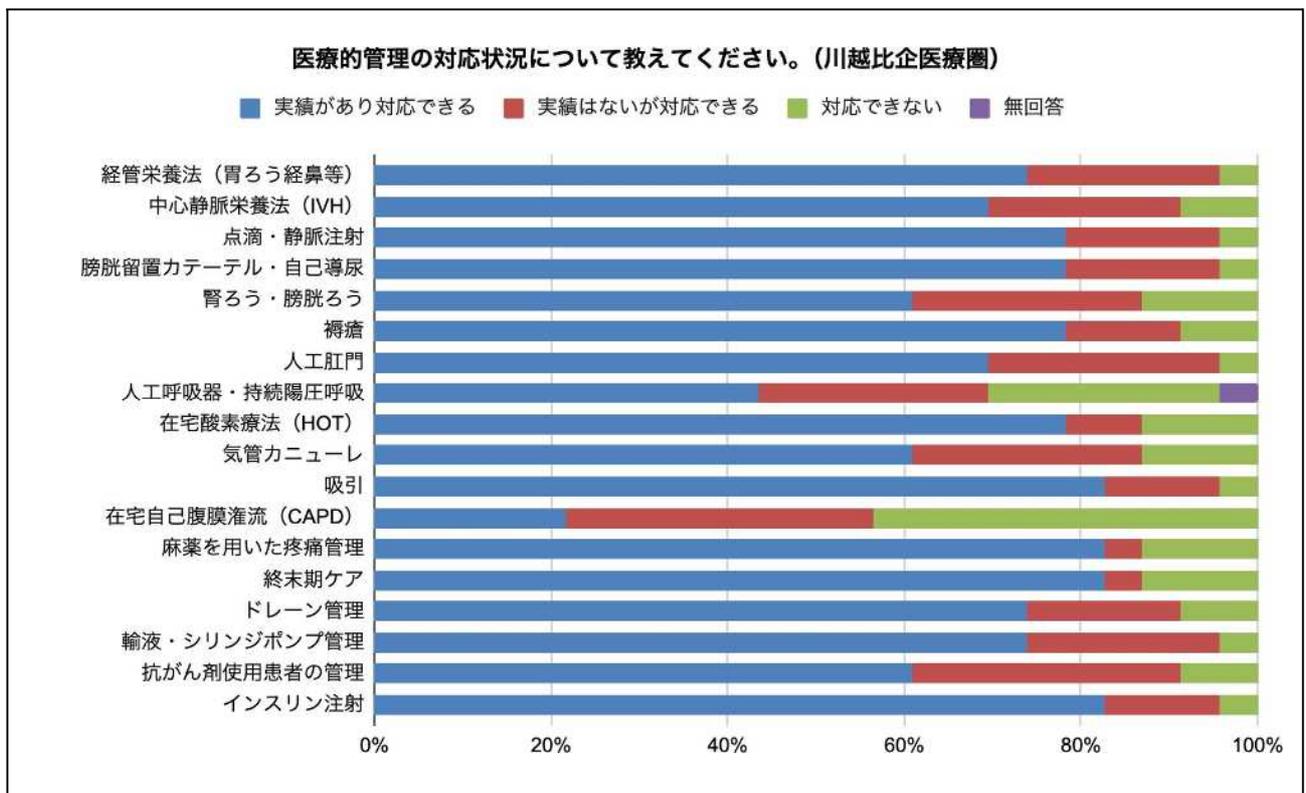
[県央医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(県央医療圏における事業所割合) (n=16) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	68.8%	12.5%	12.5%	6.3%
中心静脈栄養法(IVH)	81.3%	0.0%	18.8%	0.0%
点滴・静脈注射	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
褥瘡	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
人工肛門	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	68.8%	12.5%	18.8%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
気管カニューレ	68.8%	12.5%	18.8%	0.0%
吸引	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	25.0%	31.3%	43.8%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	75.0%	6.3%	18.8%	0.0%
終末期ケア	81.3%	0.0%	18.8%	0.0%
ドレーン管理	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	81.3%	0.0%	18.8%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	68.8%	6.3%	25.0%	0.0%
インスリン注射	81.3%	6.3%	12.5%	0.0%



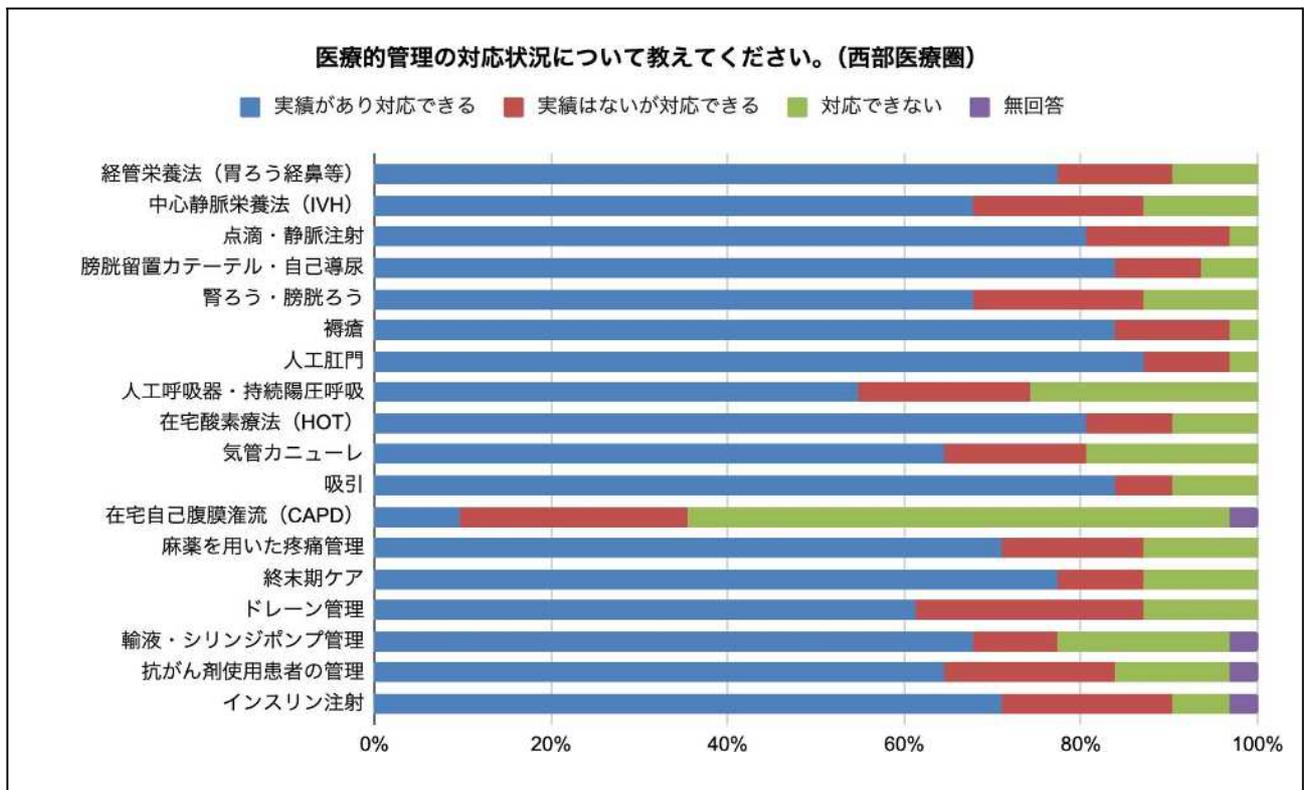
[川越比企医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(川越比企医療圏における事業所割合) (n=23) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	69.6%	21.7%	8.7%	0.0%
点滴・静脈注射	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	60.9%	26.1%	13.0%	0.0%
褥瘡	78.3%	13.0%	8.7%	0.0%
人工肛門	69.6%	26.1%	4.3%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	43.5%	26.1%	26.1%	4.3%
在宅酸素療法(HOT)	78.3%	8.7%	13.0%	0.0%
気管カニューレ	60.9%	26.1%	13.0%	0.0%
吸引	82.6%	13.0%	4.3%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	21.7%	34.8%	43.5%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	82.6%	4.3%	13.0%	0.0%
終末期ケア	82.6%	4.3%	13.0%	0.0%
ドレーン管理	73.9%	17.4%	8.7%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	60.9%	30.4%	8.7%	0.0%
インスリン注射	82.6%	13.0%	4.3%	0.0%



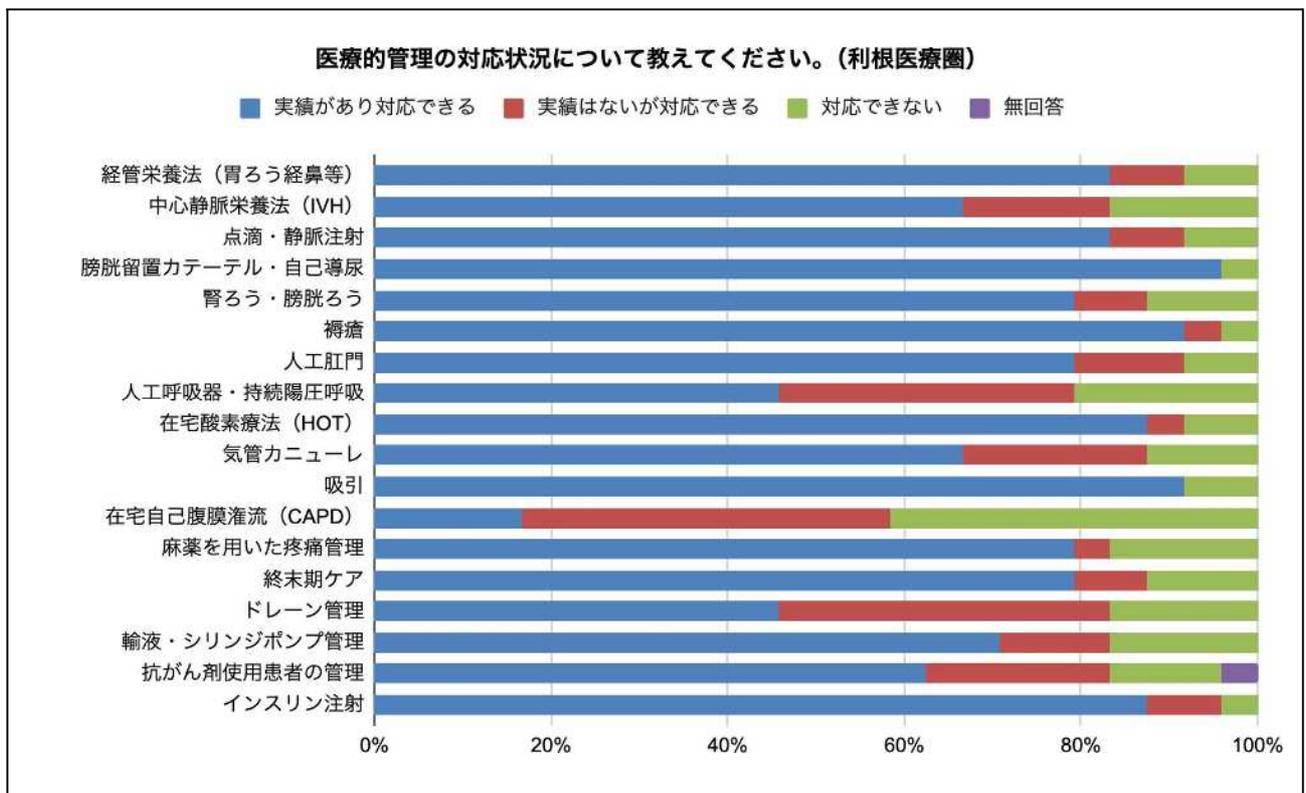
[西部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(西部医療圏における事業所割合) (n=31) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	77.4%	12.9%	9.7%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	67.7%	19.4%	12.9%	0.0%
点滴・静脈注射	80.6%	16.1%	3.2%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	83.9%	9.7%	6.5%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	67.7%	19.4%	12.9%	0.0%
褥瘡	83.9%	12.9%	3.2%	0.0%
人工肛門	87.1%	9.7%	3.2%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	54.8%	19.4%	25.8%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	80.6%	9.7%	9.7%	0.0%
気管カニューレ	64.5%	16.1%	19.4%	0.0%
吸引	83.9%	6.5%	9.7%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	9.7%	25.8%	61.3%	3.2%
麻薬を用いた疼痛管理	71.0%	16.1%	12.9%	0.0%
終末期ケア	77.4%	9.7%	12.9%	0.0%
ドレーン管理	61.3%	25.8%	12.9%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	67.7%	9.7%	19.4%	3.2%
抗がん剤使用患者の管理	64.5%	19.4%	12.9%	3.2%
インスリン注射	71.0%	19.4%	6.5%	3.2%



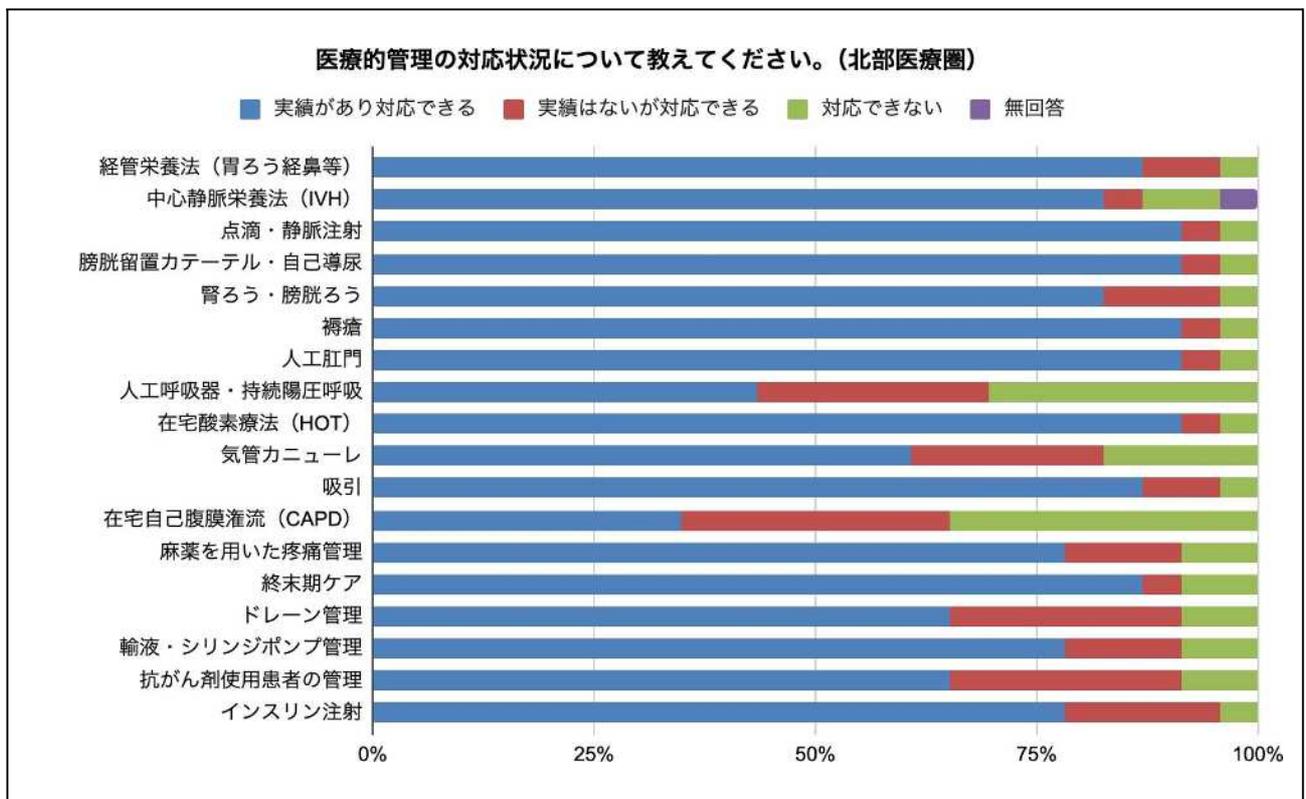
[利根医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(利根医療圏における事業所割合) (n=24) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	83.3%	8.3%	8.3%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%
点滴・静脈注射	83.3%	8.3%	8.3%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	95.8%	0.0%	4.2%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	79.2%	8.3%	12.5%	0.0%
褥瘡	91.7%	4.2%	4.2%	0.0%
人工肛門	79.2%	12.5%	8.3%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	45.8%	33.3%	20.8%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	87.5%	4.2%	8.3%	0.0%
気管カニューレ	66.7%	20.8%	12.5%	0.0%
吸引	91.7%	0.0%	8.3%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	79.2%	4.2%	16.7%	0.0%
終末期ケア	79.2%	8.3%	12.5%	0.0%
ドレーン管理	45.8%	37.5%	16.7%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	70.8%	12.5%	16.7%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	62.5%	20.8%	12.5%	4.2%
インスリン注射	87.5%	8.3%	4.2%	0.0%



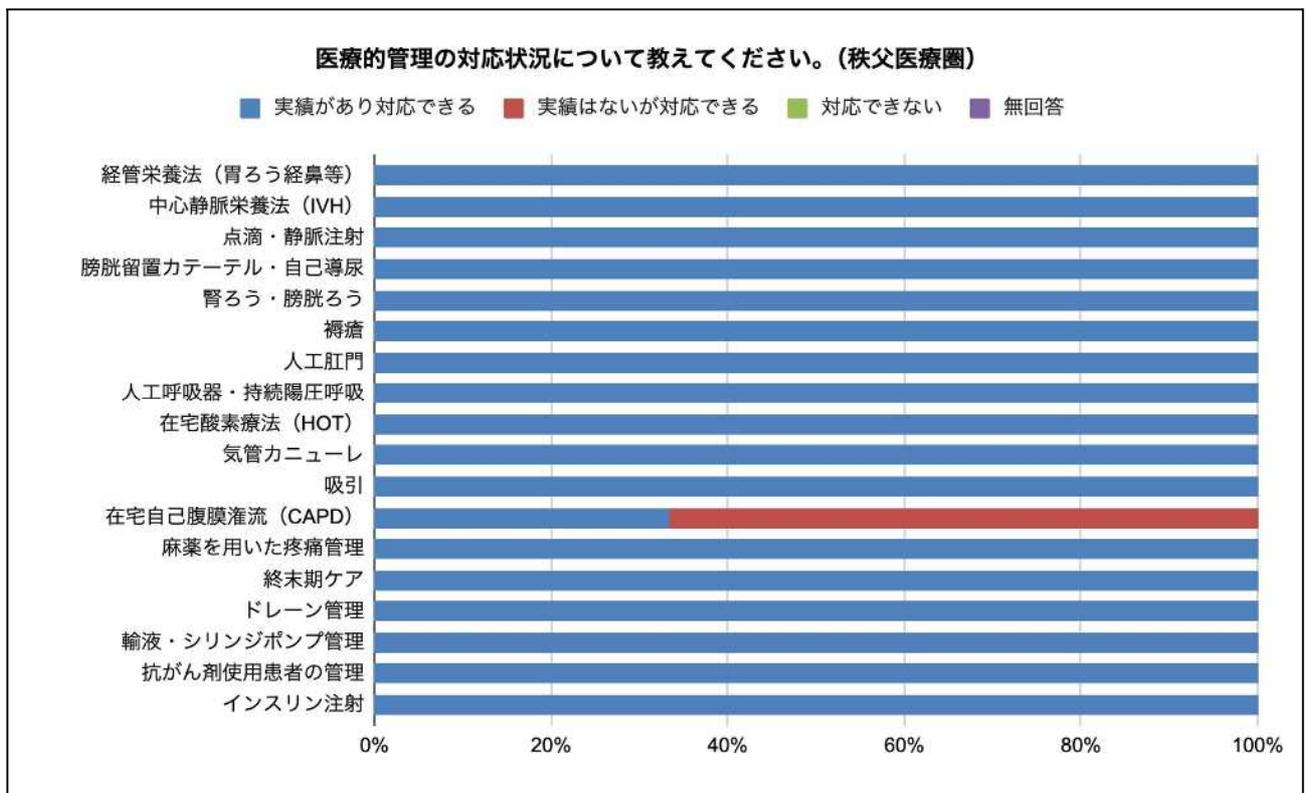
[北部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(北部医療圏における事業所割合) (n=23) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	87.0%	8.7%	4.3%	0.0%
中心静脈栄養法 (IVH)	82.6%	4.3%	8.7%	4.3%
点滴・静脈注射	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	82.6%	13.0%	4.3%	0.0%
褥瘡	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
人工肛門	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	43.5%	26.1%	30.4%	0.0%
在宅酸素療法 (HOT)	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
気管カニューレ	60.9%	21.7%	17.4%	0.0%
吸引	87.0%	8.7%	4.3%	0.0%
在宅自己腹膜灌流 (CAPD)	34.8%	30.4%	34.8%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	78.3%	13.0%	8.7%	0.0%
終末期ケア	87.0%	4.3%	8.7%	0.0%
ドレーン管理	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	78.3%	13.0%	8.7%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%
インスリン注射	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%



[秩父医療圏]

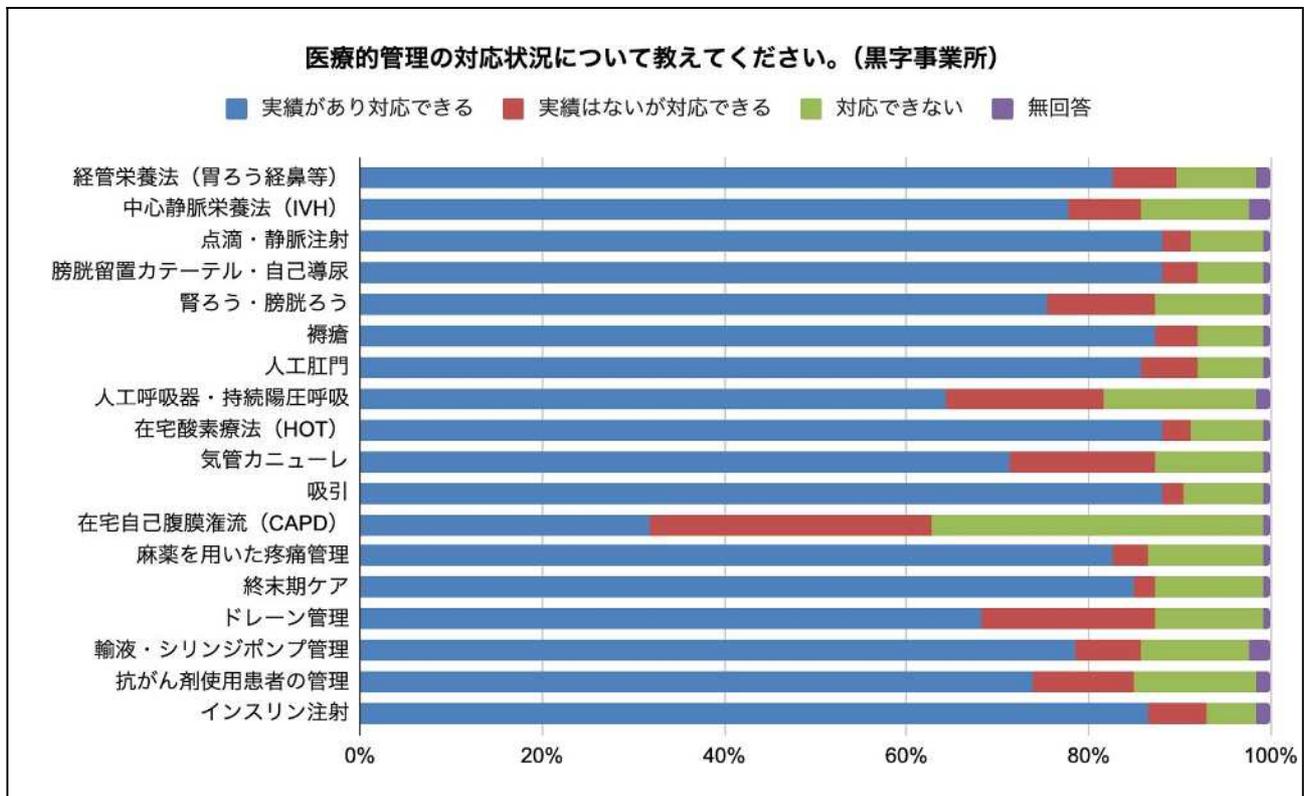
医療的管理の対応状況について教えてください。(秩父医療圏における事業所割合) (n=3) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
褥瘡	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工肛門	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管カニューレ	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吸引	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
終末期ケア	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ドレーン管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
インスリン注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



[収支別医療的管理の対応状況]

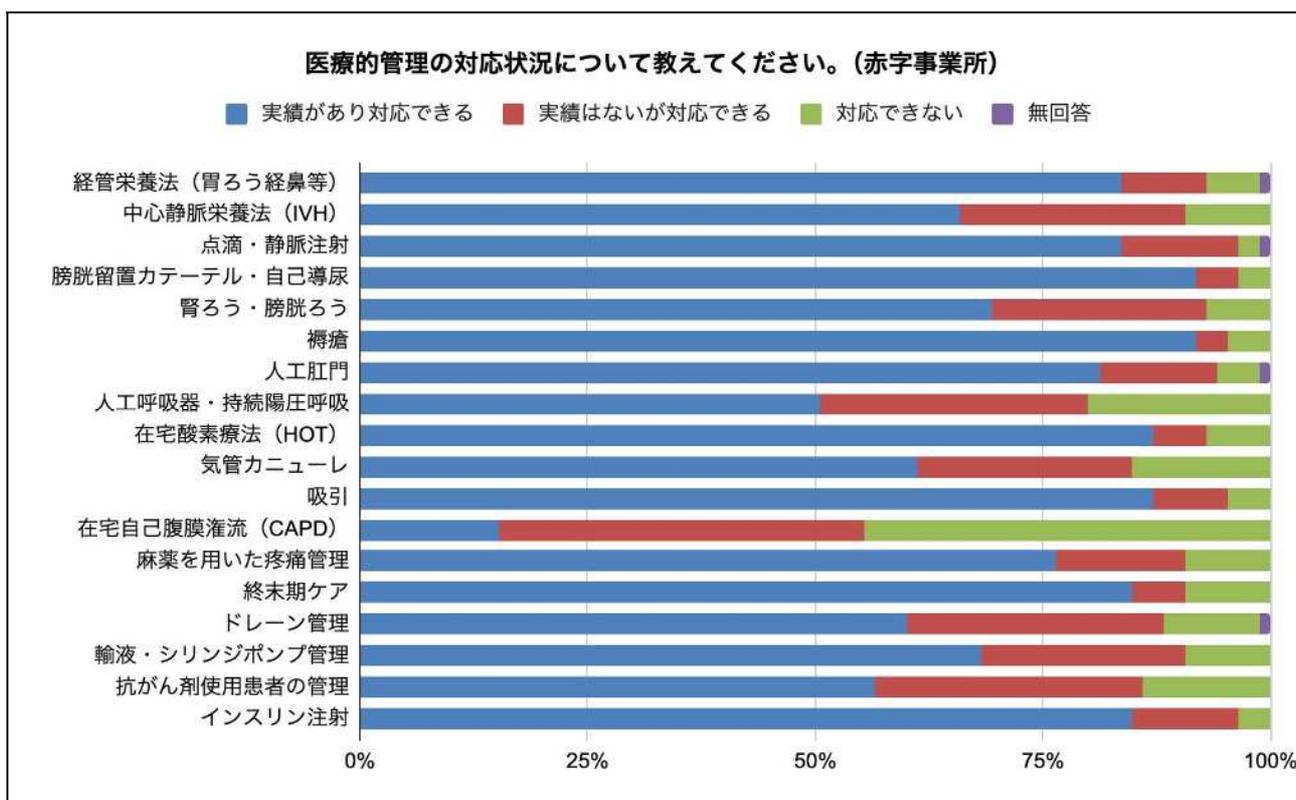
【黒字事業所】(埼玉県全体)

医療的管理の対応状況について教えてください。(黒字事業所における割合) (n=126) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	82.5%	7.1%	8.7%	1.6%
中心静脈栄養法(IVH)	77.8%	7.9%	11.9%	2.4%
点滴・静脈注射	88.1%	3.2%	7.9%	0.8%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	88.1%	4.0%	7.1%	0.8%
腎ろう・膀胱ろう	75.4%	11.9%	11.9%	0.8%
褥瘡	87.3%	4.8%	7.1%	0.8%
人工肛門	85.7%	6.3%	7.1%	0.8%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	64.3%	17.5%	16.7%	1.6%
在宅酸素療法(HOT)	88.1%	3.2%	7.9%	0.8%
気管カニューレ	71.4%	15.9%	11.9%	0.8%
吸引	88.1%	2.4%	8.7%	0.8%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	31.7%	31.0%	36.5%	0.8%
麻薬を用いた疼痛管理	82.5%	4.0%	12.7%	0.8%
終末期ケア	84.9%	2.4%	11.9%	0.8%
ドレーン管理	68.3%	19.0%	11.9%	0.8%
輸液・シリンジポンプ管理	78.6%	7.1%	11.9%	2.4%
抗がん剤使用患者の管理	73.8%	11.1%	13.5%	1.6%
インスリン注射	86.5%	6.3%	5.6%	1.6%



【赤字事業所】(埼玉県全体)

医療的管理の対応状況について教えてください。(赤字事業所における割合) (n=85) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	83.5%	9.4%	5.9%	1.2%
中心静脈栄養法(IVH)	65.9%	24.7%	9.4%	0.0%
点滴・静脈注射	83.5%	12.9%	2.4%	1.2%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	91.8%	4.7%	3.5%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	69.4%	23.5%	7.1%	0.0%
褥瘡	91.8%	3.5%	4.7%	0.0%
人工肛門	81.2%	12.9%	4.7%	1.2%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	50.6%	29.4%	20.0%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	87.1%	5.9%	7.1%	0.0%
気管カニューレ	61.2%	23.5%	15.3%	0.0%
吸引	87.1%	8.2%	4.7%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	15.3%	40.0%	44.7%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	76.5%	14.1%	9.4%	0.0%
終末期ケア	84.7%	5.9%	9.4%	0.0%
ドレーン管理	60.0%	28.2%	10.6%	1.2%
輸液・シリンジポンプ管理	68.2%	22.4%	9.4%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	56.5%	29.4%	14.1%	0.0%
インスリン注射	84.7%	11.8%	3.5%	0.0%



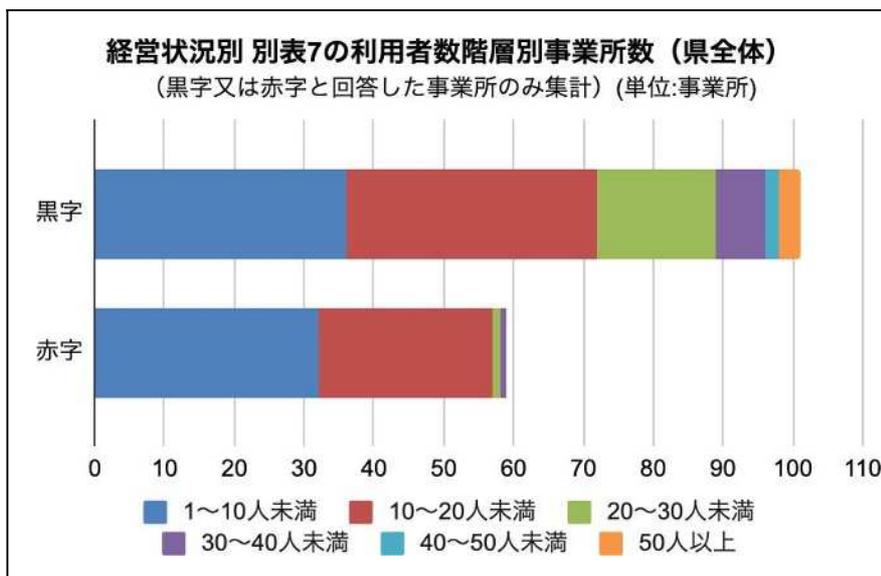
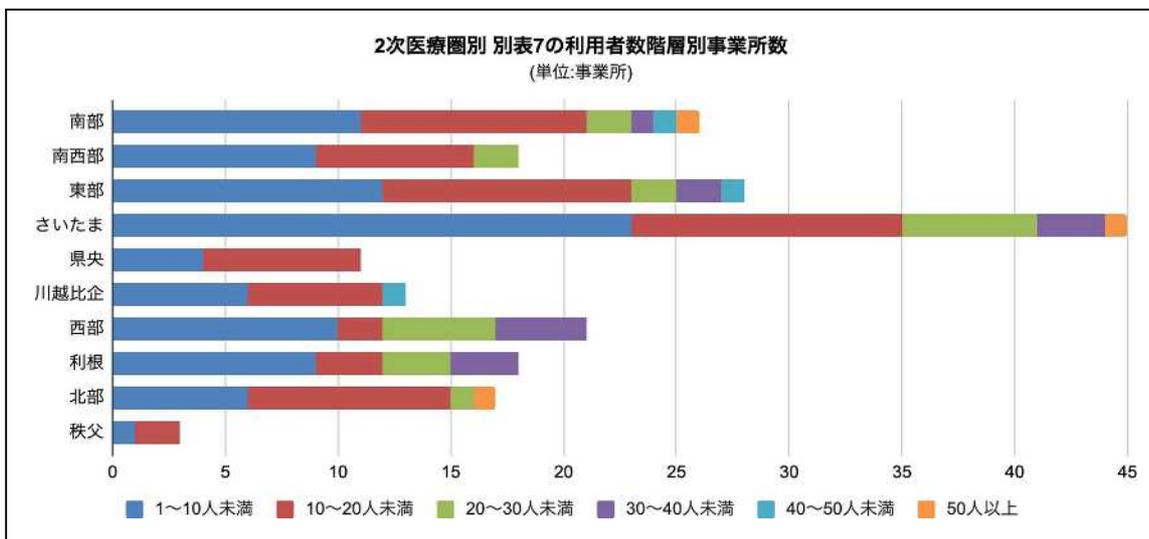
問 15 重症度が高い患者の受入れ状況について教えてください。

※令和6年6月中(6月1日～6月30日)の特掲診療科等の施設基準別表7、別表8の利用者数

[特掲診療科等の施設基準別表7関係]

(単位:事業所)

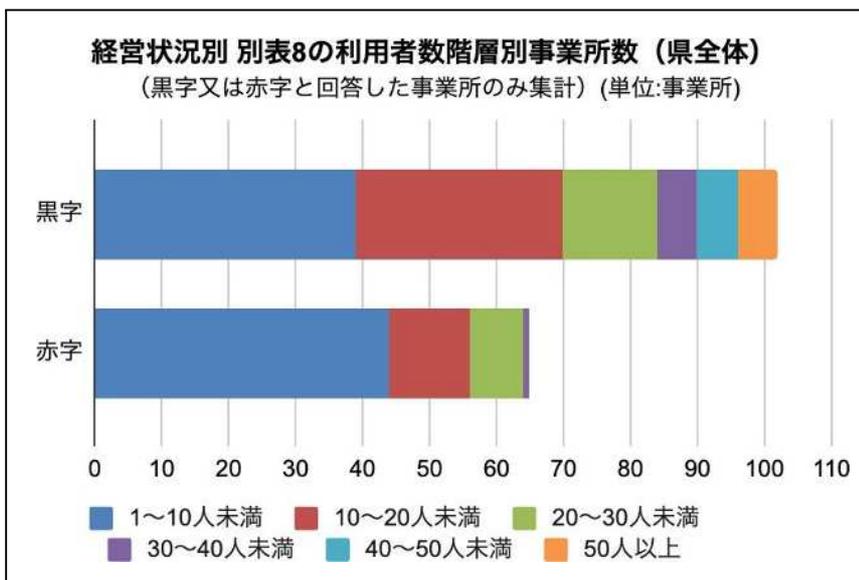
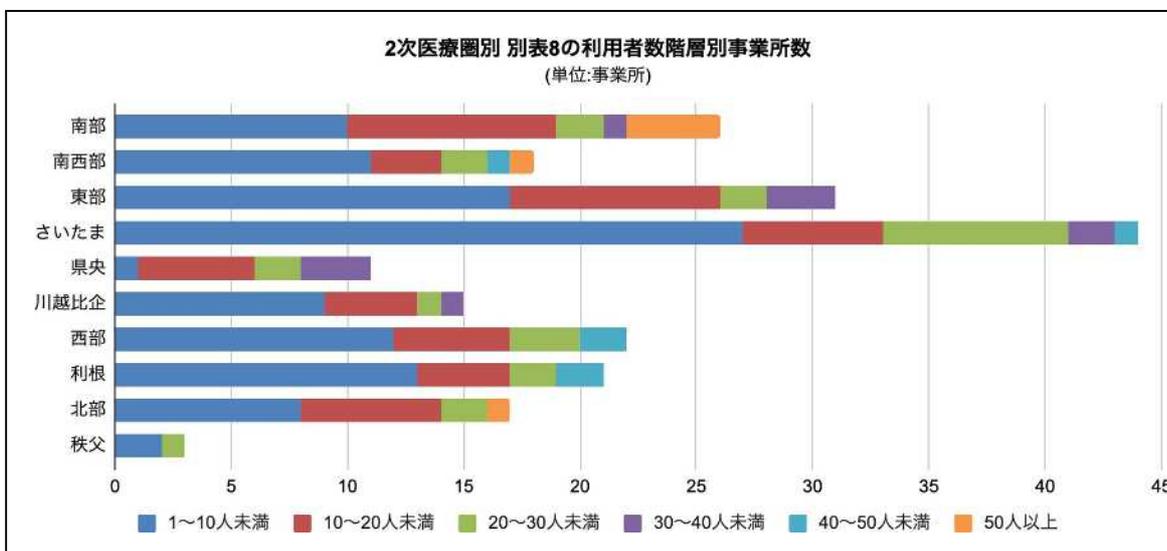
	重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください (2次医療圏別 別表7の利用者数階層別事業所数) (n=200)											左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	200	26	18	28	45	11	13	21	18	17	3	101	59	32	7	1
1～10人未満	91	11	9	12	23	4	6	10	9	6	1	36	32	18	4	1
10～20人未満	69	10	7	11	12	7	6	2	3	9	2	36	25	6	2	0
20～30人未満	21	2	2	2	6	0	0	5	3	1	0	17	1	3	0	0
30～40人未満	13	1	0	2	3	0	0	4	3	0	0	7	1	4	1	0
40～50人未満	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0
50人以上	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0



[特掲診療科等の施設基準別表8関係]

(単位:事業所)

重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください (2次医療圏別 別表8の利用者数階層別事業所数) (n=208)													左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	208	26	18	31	44	11	15	22	21	17	3	102	65	32	8	1	
1~10人未満	110	10	11	17	27	1	9	12	13	8	2	39	44	20	6	1	
10~20人未満	51	9	3	9	6	5	4	5	4	6	0	31	12	6	2	0	
20~30人未満	25	2	2	2	8	2	1	3	2	2	1	14	8	3	0	0	
30~40人未満	10	1	0	3	2	3	1	0	0	0	0	6	1	3	0	0	
40~50人未満	6	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	6	0	0	0	0	
50人以上	6	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	

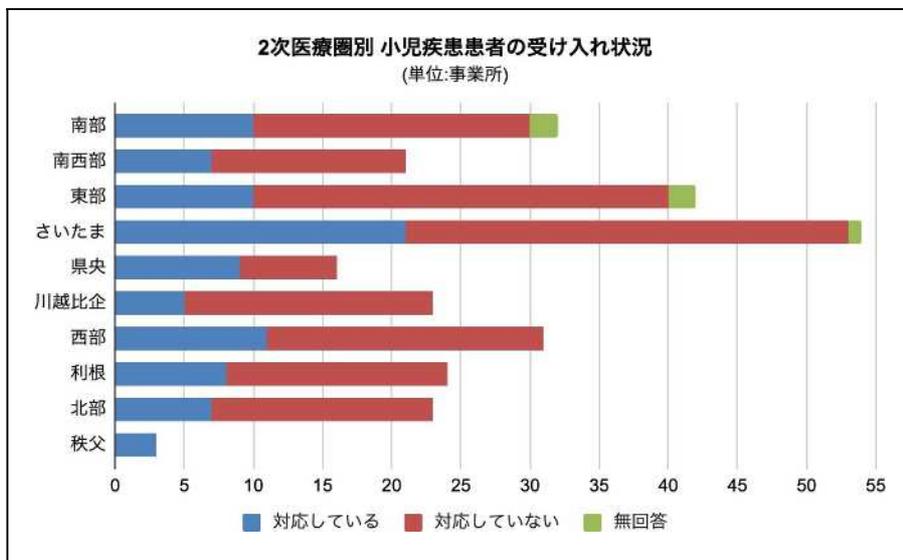


問16 小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。

※令和6年6月中(6月1日～6月30日)の利用者数、訪問回数

(単位:事業所)

小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数) (n=269)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 対応している	91	10	7	10	21	9	5	11	8	7	3	54	25	9	3	0
② 対応していない	173	20	14	30	32	7	18	20	16	16	0	72	60	32	6	3
無回答	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3



【利用者数】 令和6年6月中(6月1日～6月30日)

対応している事業所の利用者数(2次医療圏別集計)(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
(超重症児)利用者数:	107	26	12	5	24	18	2	9	6	2	3
(準超重症児)利用者数:	89	19	6	9	16	11	4	5	12	3	4
(その他)利用者数:	376	68	18	46	154	17	7	33	21	6	6
合計	572	113	36	60	194	46	13	47	39	11	13

【訪問回数】 令和6年6月中(6月1日～6月30日)

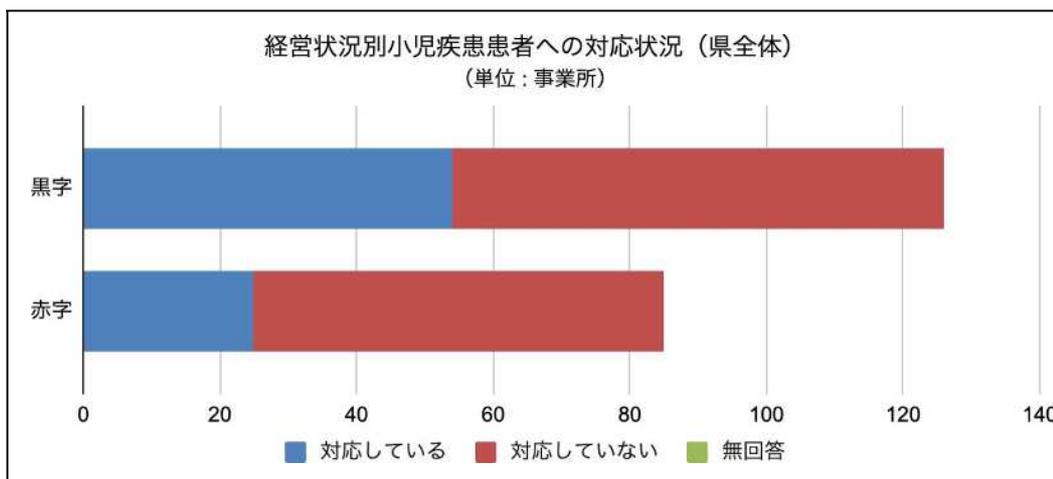
対応している事業所の訪問回数(2次医療圏別集計)(単位:回)											
単純集計	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
訪問回数	3,551	580	170	318	1,382	352	62	277	224	94	92

1事業所当たり平均	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
対応している事業所の平均訪問回数(n=91)	39.0	58.0	24.3	31.8	65.8	39.1	12.4	25.2	28.0	13.4	30.7

[経営状況別 小児疾患患者受け入れ状況]

※黒字・赤字と回答した事業所のみを集計

小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。(n=211)(単位:事業所・%)				
	黒字		赤字	
全体	126	100.0%	85	100.0%
① 対応している	54	42.9%	25	29.4%
② 対応していない	72	57.1%	60	70.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%



問16-② 小児疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)

対応する上での課題(対応していると回答した事業所のみ回答)(複数回答可)	
ア. 小児訪問看護は難病等の特殊性・個別性が高いため、医療的ケアに不安がある。	60
イ. 病状だけではなく、成長に合わせたケアを行うことが難しい。	68
ウ. 小児在宅医療に関わる職種(医療、福祉、教育)が多く、連携を取るのが難しい。	38
エ. 小児の地域支援についての制度や法律が複雑である。	52
オ. 親との関わり方が難しい。	41
カ. 地域で訪問診療を行っている医療機関が少ない。	40
キ. レスパイト先の確保が難しい。	38
ク. 小児訪問看護の経験がある看護師の確保が難しい。	45
ケ. 看護師のスキルアップを目的とした研修を受講する機会が少ない。	24
コ. その他	5

※コ. その他

- ・上記課題があり、スタッフ全員の訪問は難しい
- ・就学児童になると訪問時間が夕方になるので、行ける職員に限られる事がある。
- ・発達障害の理解不足と対応が難しい
- ・希望訪問時間が夕～夜が多い(通常営業時間外)
- ・キャンセルや時間指定が多く、受け入れが難しい。

問16-③ 小児疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

対応していない理由(対応していないと回答した事業所のみ回答)(複数回答可)	
ア. スタッフが少なく、対応できない	50
イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している	60
ウ. 経営判断により対応していない	37
エ. 対応できるが紹介がない。	29
オ. その他	13

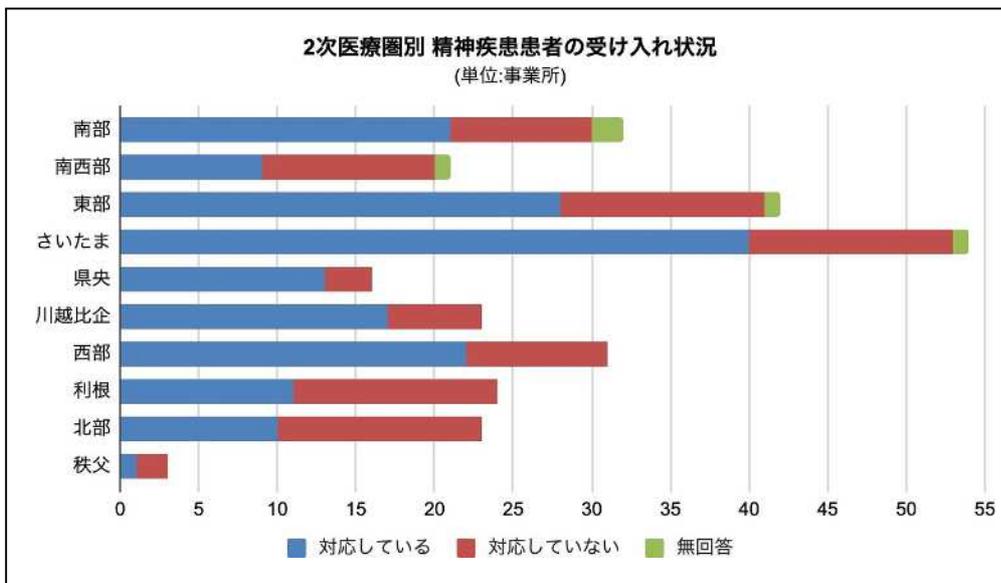
※オ. その他

- ・精神科特化だから
- ・依頼がない。
- ・小児科を引き受けてくれる訪問診療が少ない
- ・対応できるスタッフがいらない
- ・開設をして間もないため、対応が困難
- ・心不全終末や癌終末期等に特化している。
- ・精神科特化で行っており児童思春期などの対応はしています。
- ・介護保険を利用している入居者の対応を主としているため
- ・有料老人ホームの中に併設されている訪看の為。

問17 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。

※令和6年6月中(6月1日～6月30日)の利用者数、訪問回数

精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別事業所数)(n=269)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計(単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 対応している	172	21	9	28	40	13	17	22	11	10	1	87	52	25	7	1
② 対応していない	92	9	11	13	13	3	6	9	13	13	2	37	33	17	3	2
無回答	5	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3



【利用者数】 令和6年6月中(6月1日～6月30日)

対応している事業所の利用者数(2次医療圏別集計)(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
利用者数	3,316	258	52	562	911	219	399	567	252	95	1

【訪問回数】 令和6年6月中(6月1日～6月30日)

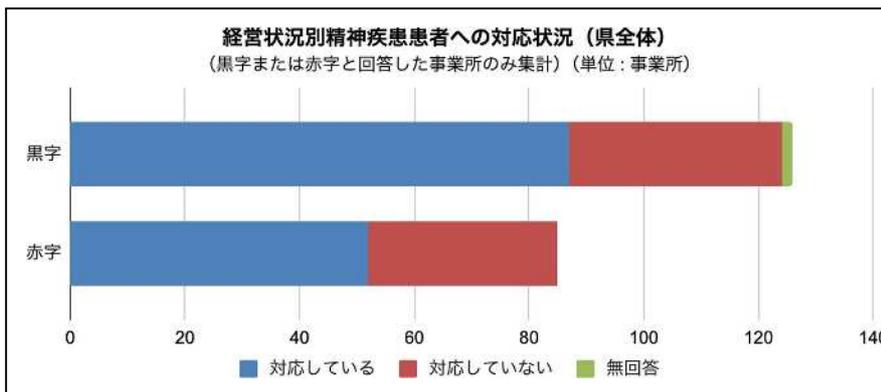
対応している事業所の訪問回数(2次医療圏別集計)(単位:回)											
単純集計	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
訪問回数	19,458	1,561	221	2,839	6,366	1,275	2,653	2,995	994	550	4

1事業所当たり平均	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
対応している事業所の平均訪問回数(n=172)	113.1	74.3	24.6	101.4	159.2	98.1	156.1	136.1	90.4	55.0	4.0

[経営状況別 精神疾患患者受け入れ状況]

※黒字・赤字と回答した事業所のみを集計

精神疾患患者の受け入れ状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数) (n=211) (単位:事業所・%)				
	黒字		赤字	
	全体	126	100.0%	85
① 対応している	87	69.0%	52	61.2%
② 対応していない	37	29.4%	33	38.8%
無回答	2	1.6%	0	0.0%



問17-② 精神疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)

精神疾患患者に対応している場合の対応する上での課題 (複数回答可)	
ア. 精神症状悪化時の対応が難しい(危険を伴う等)	99
イ. 身体管理が難しく、効果が見えにくい。	62
ウ. コミュニケーション・信頼関係構築が難しい。	81
エ. 単独訪問が不安であるが、複数名で訪問を行う人的余裕がない。	32
オ. 拒否・キャンセル、頻回・長時間の訪問や電話対応等により採算が合わない。	74
カ. 専門医や主治医、行政機関との連携が難しい。	47
キ. 患者の家族から協力を得ることが難しい。	54
ク. その他	8

※ク. その他

- ・日により相談の電話回数が違うが、5分おきの電話だったり大変なときもある。
- ・精神疾患特有の難しさや特性の難しさがある。他の機関の専門性の低さにより連携が難しい。
- ・時間外、週末に体調が悪化すると受け入れ先が限られ家族がいないと紹介してもらえない。
- ・行政機関ではなく福祉施設との連携が難しい事が多い。
- ・病識が乏しく、すぐに利用中止してしまう方がいる
- ・緊急対応への電話が頻回で対応が大変
- ・スタッフ教育
- ・課題なし

問 17-③ 精神疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

対応していない理由(対応していないと回答した場合のみ回答)(複数回答可)	
ア. スタッフが少なく、対応できない	30
イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している	12
ウ. 経営判断により対応していない	32
エ. 受け入れ態勢は整っているが、紹介がない	13
オ. その他	14

※オ. その他

- ・精神科の経験のある看護師や算定要件研修を受講した看護師がいない。
- ・指定申請を受けていない
- ・緊急時の電話対応に出動できなくなるか
- ・近々対応を予定している。
- ・精神を取っていない
- ・癌末期のかたが多く、精神疾患を患っているかたががん末期だった場合に対応できるよう届出はしているが積極的に受けていない
- ・地域に精神科対応ステーションと病院・クリニックが数件あり依頼がない
- ・緊急当番スタッフの人数が少なく、小児の緊急対応との兼ね合いで受け入れが難しいと判断しているため
- ・地域に精神に特化した訪問看護ステーションがある。

4 経営状況等について

問 18 現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。

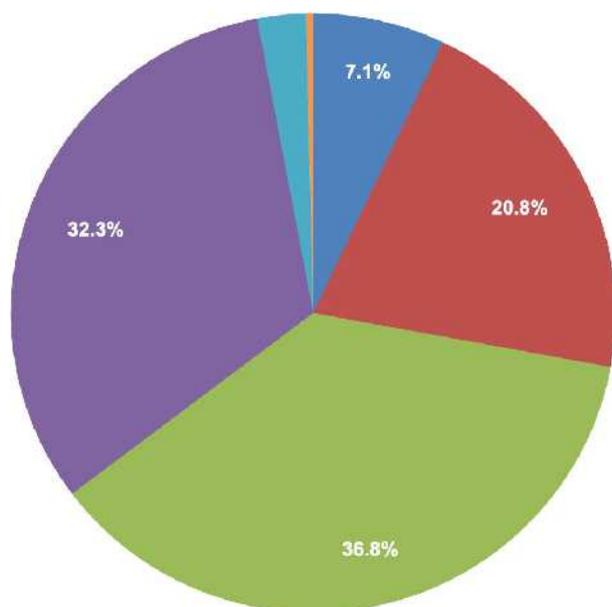
現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 依頼数が多く、訪問依頼を断っている	19	2	2	4	2	4	1	3	0	1	0	10	5	4	0	0
② 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない	56	7	4	9	10	1	4	8	6	5	2	36	8	9	1	2
③ 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい	99	12	11	15	19	8	10	7	6	11	0	57	21	16	4	1
④ 依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない	87	10	3	14	22	2	8	11	10	6	1	20	47	13	5	2
⑤ その他	7	1	1	0	1	1	0	2	1	0	0	3	4	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※⑤ その他

- ・近隣ステーションが増加したことで新規依頼数は以前に比べ減っている。訪問依頼は断っていない
- ・依頼が多い時もあれば少ない時もある。過剰な時もあるべく断らないようにしている
- ・開業して1年未満のため周知されていないため
- ・疾患、状態によって対応可能か判断している
- ・スタッフ不足のため曜日、時間により断っている
- ・依頼は季節によって波があり、状況次第で逼迫も閑散もあり平均化が難しい。
- ・依頼数は多くないが、看護師不足により依頼を断っている

現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 依頼数が多く、訪問依頼を断っている	7.1%	6.3%	9.5%	9.5%	3.7%	25.0%	4.3%	9.7%	0.0%	4.3%	0.0%	7.9%	5.9%	9.5%	0.0%	0.0%
② 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない	20.8%	21.9%	19.0%	21.4%	18.5%	6.3%	17.4%	25.8%	25.0%	21.7%	66.7%	28.6%	9.4%	21.4%	10.0%	33.3%
③ 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい	36.8%	37.5%	52.4%	35.7%	35.2%	50.0%	43.5%	22.6%	25.0%	47.8%	0.0%	45.2%	24.7%	38.1%	40.0%	16.7%
④ 依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない	32.3%	31.3%	14.3%	33.3%	40.7%	12.5%	34.8%	35.5%	41.7%	26.1%	33.3%	15.9%	55.3%	31.0%	50.0%	33.3%
⑤ その他	2.6%	3.1%	4.8%	0.0%	1.9%	6.3%	0.0%	6.5%	4.2%	0.0%	0.0%	2.4%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください（県全体の回答割合）

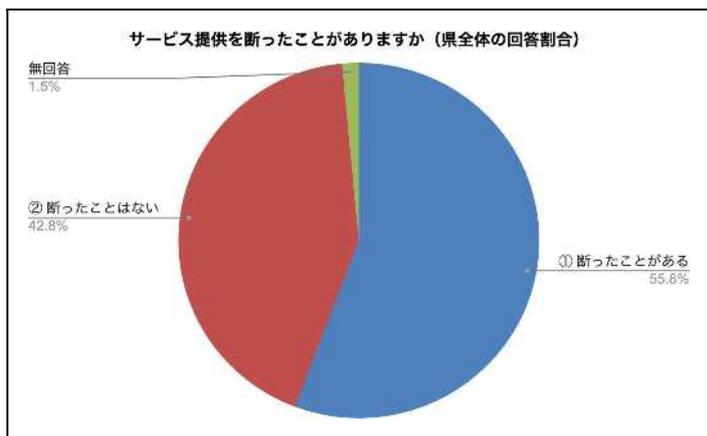


- ① 依頼数が多く、訪問依頼を断っている
- ② 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない
- ③ 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい
- ④ 依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

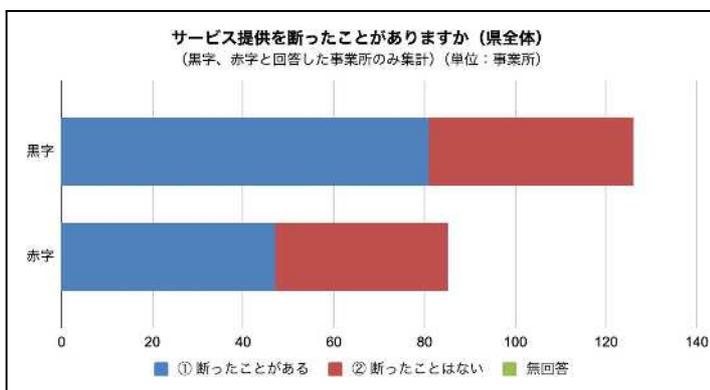
問19 直近1年間(令和5年4月1日～令和6年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。

直近1年間(令和5年4月1日～令和6年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。 (2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
① 断ったことがある	150	18	14	22	35	9	12	20	11	9	0	81	47	20	2	0	
② 断ったことはない	115	12	7	19	19	7	11	11	12	14	3	45	38	22	8	2	
無回答	4	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
合計	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6	

直近1年間(令和5年4月1日～令和6年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)													左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
① 断ったことがある	55.8%	56.3%	66.7%	52.4%	64.8%	56.3%	52.2%	64.5%	45.8%	39.1%	0.0%	64.3%	55.3%	47.6%	20.0%	0.0%	
② 断ったことはない	42.8%	37.5%	33.3%	45.2%	35.2%	43.8%	47.8%	35.5%	50.0%	60.9%	100.0%	35.7%	44.7%	52.4%	80.0%	33.3%	
無回答	1.5%	6.3%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



[経営状況別サービス提供を断ったことがありますか]
※黒字、赤字と回答した事業所のみを集計



問19-②サービス提供を断った理由は何ですか。(断ったことがあると回答した場合のみ回答)
(複数回答可)

断ったことがある場合、断った理由(複数回答可)(n=150)	
ア. 職員不足により、対応できなかった	92
イ. 移動距離が長かったため	71
ウ. サービス(医療処理等)内容が対応困難だったため	32
エ. その他	16

エ. その他

- ・PT,ST希望だったが、希望のスタッフは採用していなかった為
- ・近隣のステーションにSTが少なく弊社にST依頼が多くなり既存のST人数では対応出来なかった。
- ・依頼内容が理学療法士によるリハビリだった為。
- ・エリア外からの依頼だったため
- ・通常の実施区域からかなり離れていた
- ・営業時間外での時間固定訪問依頼だったため
- ・ご利用者様の希望曜日の訪問が難しかった
- ・時間・曜日の指定があり対応困難だったため
- ・訪問スケジュールの空き無し
- ・ピンポイントで曜日と時間を指定されたため。
- ・小児で月曜日から日曜日まで介入希望の依頼 土日祝日は基本休みのため介入は困難であった
- ・毎日訪問の必要な利用者で、他にも毎日訪問が必要な利用者を抱えていてタイミング的にお受け入れが難しかった。
- ・そのとき、受け入れの余力がなかった。
- ・積雪のため
- ・スタッフの知り合いだと分かったため
- ・以前介入していた利用者が再度依頼あったが、当事業所のクレームで終了した利用者だったため、トラブル回避するため

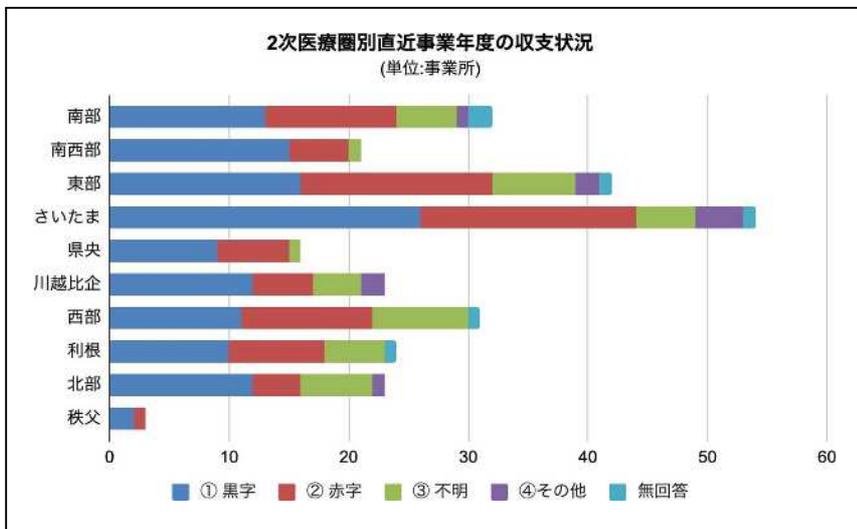
問20 直近の事業年度末決算(令和5年4月1日～令和6年3月31日)における収支状況※について教えてください。

※法人本体等からの運営費交付金等を除いた、訪問看護ステーション単体の収支

直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3
① 黒字	126	13	15	16	26	9	12	11	10	12	2
② 赤字	85	11	5	16	18	6	5	11	8	4	1
③ 不明	42	5	1	7	5	1	4	8	5	6	0
④ その他	10	1	0	2	4	0	2	0	0	1	0
無回答	6	2	0	1	1	0	0	1	1	0	0

④その他

- ・令和6年4月開業
- ・病院管理下のため十分に把握できていない
- ・令和6年4月からの事業開始のため
- ・令和6年6月開設の為未決算
- ・まだ開設していない
- ・開設前のため収支なし
- ・法人は若干の黒字ですが訪問看護のみの単体だと赤字になります。
- ・R6 5月より開設したステーションである
- ・ほぼプラスマイナス無し。
- ・2024年4月開業なので、前期は0申告



直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 黒字	46.8%	40.6%	71.4%	38.1%	48.1%	56.3%	52.2%	35.5%	41.7%	52.2%	66.7%
② 赤字	31.6%	34.4%	23.8%	38.1%	33.3%	37.5%	21.7%	35.5%	33.3%	17.4%	33.3%
③ 不明	15.6%	15.6%	4.8%	16.7%	9.3%	6.3%	17.4%	25.8%	20.8%	26.1%	0.0%
④ その他	3.7%	3.1%	0.0%	4.8%	7.4%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
無回答	2.2%	6.3%	0.0%	2.4%	1.9%	0.0%	0.0%	3.2%	4.2%	0.0%	0.0%

問21 赤字の理由について教えてください。(問20で赤字と回答した場合のみ回答)(複数回答可)

赤字の理由について(問20で赤字と回答した場合のみ回答)(複数回答可)(n=85)	
① 職員数に比べて利用者数(訪問回数)が少ない。	55
② 不採算な事業の実施	2
③ 利用者数が少なく、安定的な収入が見込めない。	36
④ 開業して間もないため。	20
⑤ 新型コロナウイルス等感染症による影響があった。	4
⑥ その他	18

⑥ その他

- ・人件費
- ・スタッフの退職予定が続き新規を受けられなかった
- ・複数退職予定者に伴う利用者の縮小調整。
- ・スタッフが定着するのに時間がかかり利用者を増やせない状況
- ・訪問経験がない入職間もないスタッフがいたため教育に時間を要した。
- ・常勤看護師が少なく安定した看護提供ができない
- ・質の担保のため、また、後継者のため、常勤職員を増やした。
- ・人材紹介料が多くかかるため
- ・医療保険の利用者さんが少なく、介護保険の30分月1回や2回の方多い。サテライトの費用もかかっている。
- ・オンライン請求導入、人材紹介会社への紹介料が高額だったため。
- ・山間地域への訪問が多く、移動時間がかかり効率が悪いため。
- ・入院加療による終了、死亡終了、施設入所終了が多くなっている。
- ・入院や受診、兄弟の行事などでのキャンセルが多い
- ・家賃などの固定費が高く経費が年々かさんでいる。人件費はほぼ横ばい(職員が全員55歳以上で昇給しない為)
- ・会社利益分配のため
- ・燃料代(ガソリン代)高騰 加算に結びつかない訪問が多い

「利用者数(訪問回数)が少ない理由」を教えてください。

※問21で「① 職員数に比べて利用者数(訪問回数)が少ない。」と回答した事業者のみ回答

利用者数(訪問回数)が少ない理由(複数回答可)(n=55)	
ア. 移動距離が長いため。	6
イ. 地域内にステーション数が多いため。	31
ウ. その他	20
無回答	4

※問21で「② 不採算な事業の実施」と回答した事業所の記述

- ・電話対応に対する算定が無い(通院は電話再診の算定が出来るが)

問22 赤字の補てん方法について教えてください。(「赤字」と回答した事業所のみ回答)(複数回答可)

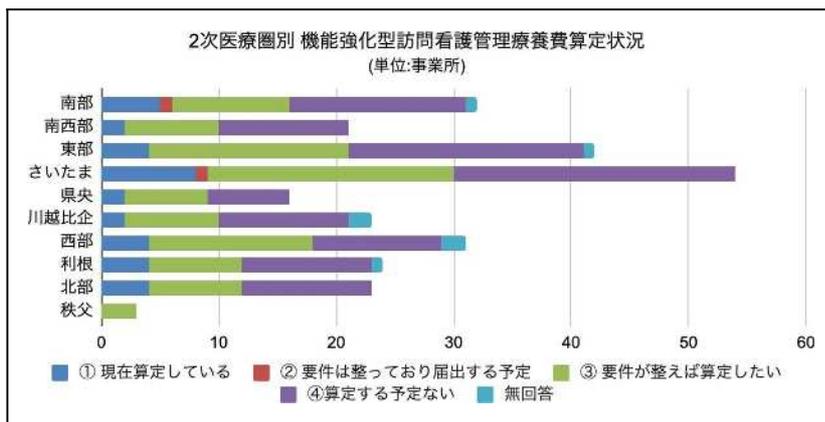
赤字の補てん方法について教えてください。(「赤字」と回答した事業所のみ回答)(複数回答可)(n=85)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	86	11	5	16	18	7	5	11	8	4	1
① 法人本体や別会計等から補てんしている。	57	6	4	10	14	3	3	9	6	1	1
② 特に補てんしていない。	18	5	1	3	3	1	1	1	1	2	0
③ その他	7	0	0	1	1	3	0	1	1	0	0
無回答	4	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0

③ その他

- ・代表者の追加融資
- ・役員報酬を下げた
- ・金融機関等からの補填
- ・事業資金の借り入れ
- ・代表者の個人ローン
- ・会社代表社員からの貸付
- ・社長借入

問23 機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。

貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数)(n=269)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 現在算定している	35	5	2	4	8	2	2	4	4	4	0	25	7	3	0	0
② 要件は整っており届出する予定	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
③ 要件が整えば算定したい	104	10	8	17	21	7	8	14	8	8	3	46	37	14	4	3
④算定する予定ない	121	15	11	20	24	7	11	11	11	11	0	53	39	23	6	0
無回答	7	1	0	1	0	0	2	2	1	0	0	1	1	2	0	3



貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 現在算定している	13.0%	15.6%	9.5%	9.5%	14.8%	12.5%	8.7%	12.9%	16.7%	17.4%	0.0%	19.8%	8.2%	7.1%	0.0%	0.0%
② 要件は整っており届出する予定	0.7%	3.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 要件が整えば算定したい	38.7%	31.3%	38.1%	40.5%	38.9%	43.8%	34.8%	45.2%	33.3%	34.8%	100.0%	36.5%	43.5%	33.3%	40.0%	50.0%
④ 算定する予定ない	45.0%	46.9%	52.4%	47.6%	44.4%	43.8%	47.8%	35.5%	45.8%	47.8%	0.0%	42.1%	45.9%	54.8%	60.0%	0.0%
無回答	2.6%	3.1%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	8.7%	6.5%	4.2%	0.0%	0.0%	0.8%	1.2%	4.8%	0.0%	50.0%

※機能強化型訪問看護管理療養費の算定要件を満たしていない項目を教えてください。

(複数回答可) (問 23 で「③ 要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)

算定要件を満たしていない項目 (複数回答可) (n=104) (「③要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)	
ア.「常勤看護職員数」	47
イ.「24時間対応体制加算の届出」	6
ウ.「直近1年間のターミナルケア件数又は超重症児・準重症児の受入実績」	53
エ.「特掲診療料等の施設基準等の別表第7の利用者数」	28
オ.「居宅介護支援事業所または相談支援事業所が同一敷地内に設置」	40
カ.「休日、祝日も含めた計画的な訪問看護の実施」	38
キ.「地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施」	50
ク.「その他」	1

ク.「その他」

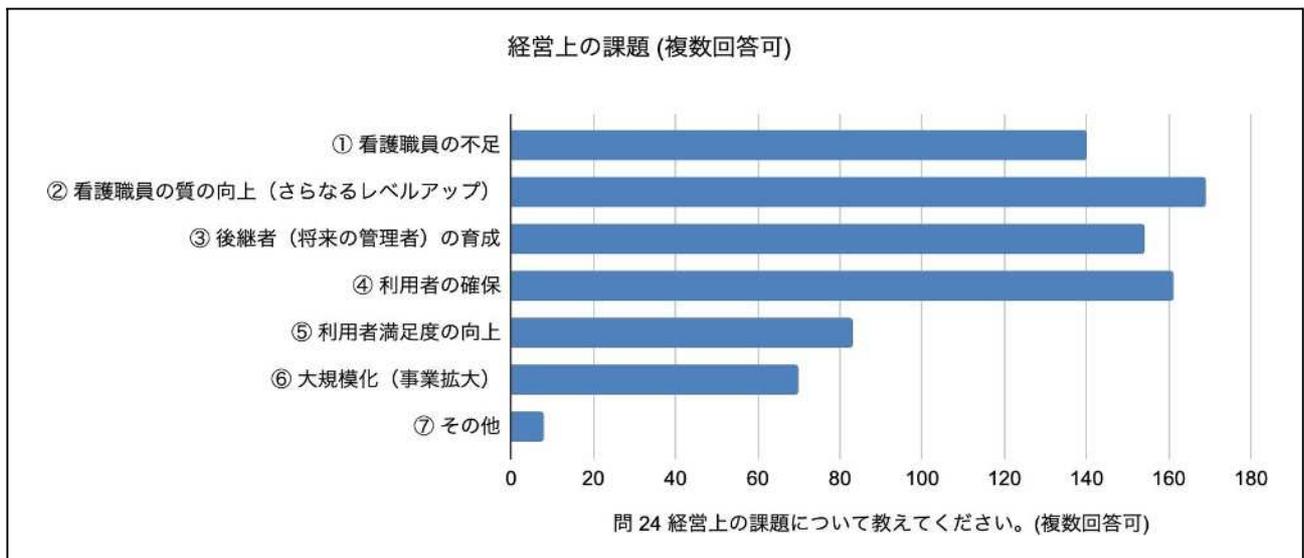
- ・法人内本社に居宅介護事業所有るが、算定対応に手数を要するため辞退している。
- ・開設して間もない

問24 経営上の課題について教えてください。(複数回答可)

経営上の課題について教えてください。(複数回答可) (n=268)	
① 看護職員の不足	140
② 看護職員の質の向上(さらなるレベルアップ)	169
③ 後継者(将来の管理者)の育成	154
④ 利用者の確保	161
⑤ 利用者満足度の向上	83
⑥ 大規模化(事業拡大)	70
⑦ その他	8

⑦ その他

- ・管理職教育
- ・医療保険の利用者さんが少ない。
- ・有給取得の推進など職員には利点が多いが、経営者側には厳しいと感じる。
- ・小さい子供のいる看護職員が増え、学校行事や体調不良・感染等により長期間突然休みが複数名発生するため予定の訪問が回り切れない状況が発生している。そのため、新規依頼が受けにくい状況が発生している。
- ・看護職員の高齢化問題～若返りが必要
- ・経費増大につき廃業予定



5 訪問看護全般について

問25 埼玉県の実業委託事業である「訪問看護相談窓口」「看護管理者相談窓口」についてご存じですか。

埼玉県の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」についてご存知ですか。 (2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 既に活用している	85	13	5	7	16	4	8	16	7	7	2	46	27	12	0	0
② 知っているが、まだ活用したことはない	126	14	12	21	25	11	10	7	14	12	0	57	41	21	5	2
③ 知らない	57	5	4	14	13	1	5	8	2	4	1	23	17	9	5	3
④ その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

埼玉県の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」についてご存知ですか。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=269) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 既に活用している	31.6%	40.6%	23.8%	16.7%	29.6%	25.0%	34.8%	51.6%	29.2%	30.4%	66.7%	36.5%	31.8%	28.6%	0.0%	0.0%
② 知っているが、まだ活用したことはない	46.8%	43.8%	57.1%	50.0%	46.3%	68.8%	43.5%	22.6%	58.3%	52.2%	0.0%	45.2%	48.2%	50.0%	50.0%	33.3%
③ 知らない	21.2%	15.6%	19.0%	33.3%	24.1%	6.3%	21.7%	25.8%	8.3%	17.4%	33.3%	18.3%	20.0%	21.4%	50.0%	50.0%
④ その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

④ その他

回答無し

問26 問25に記載の埼玉県の委託事業を活用してどのような効果があったか教えてください。

(複数回答可)(問25で「①既に活用している」と回答した事業所のみ回答)

埼玉県の委託事業を活用してどのような効果があったか教えてください。(複数回答可)(n=85)	
① 事業所を大規模化することが出来た	1
② 赤字から黒字に転換することが出来た	3
③ 収支状況を改善することが出来た	3
④ 新たな加算等を算定することが出来た	18
⑤ 請求漏れや請求間違いを防ぐことが出来た	62
⑥ 専門家に依頼する負担の軽減や時間節減につながった	9
⑦ 労務管理やリスクマネジメントを適正に実施することが出来た	8
⑧ 働き方改革につながった	1
⑨ その他	6
⑩ 特に効果はない	4

⑨ その他

- ・法律上訪問看護が対応可能かどうか、判断に迷った際に相談に乗っていただき、不法行為をせずにすんだ。
- ・正しい算定により適切な運営ができる
- ・難病の方の入り方について
- ・不明点が解決された
- ・疑問点について確認できた
- ・研修や新規獲得にあたっての制度上の不明点が解決できた

問27「埼玉県訪問看護教育ステーション事業」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(複数回答可) (教育ステーション事業を活用したことがある場合のみ回答)

教育ステーション事業を利用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。(複数回答可)	
① 看取りに対応できるようになった、看取り件数が増加した	2
② 小児疾患患者に対応できるようになった、対応件数が増加した	1
③ 重症度が高い患者(特掲診療科等の施設基準別表7・8の利用者)に対応できるようになった、対応件数が増加した	2
④ 新たな医療的管理に対応できるようになった	7
⑤ 看護技術(フィジカルアセスメント等)が向上した	23
⑥ 利用者の獲得増につながった	1
⑦ 病院との連携が進んだ	1
⑧ コミュニケーションスキルが向上した	9
⑨ 教育STや地域のSTとのつながりができ、相談や連携がしやすくなった	17
⑩ その他	3
⑪ 特に効果はない	5

⑩ その他

- ・職員の学習意欲が高まっている
- ・研修を利用させていただき日々の訪問看護に活用している

問28 埼玉県の委託事業である「訪問看護体験実習」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(複数回答可) (訪問看護体験実習で実習受け入れを行った事業所のみ回答)

問28 県委託事業「訪問看護体験実習」効果	
① 体験実習を行った看護職員を採用することができた	11
② 病院との連携が進んだ	3
③ 利用者の増加につながった	1
④ ステーションのPRにつながった	12
⑤ 職員の質の向上につながった	7
⑥ その他	0
⑦ 特に効果はない	8

⑥ その他

回答無し

問28-② 訪問看護体験実習を行った結果、看護職員を採用することができた事業所における採用人数

体験実習を行った結果、看護職員を採用することができた人数(2次医療圏別人数)(単位:人)										
全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
17	6	0	0	1	1	0	3	1	5	0

問29 訪問看護に関する県の取組として、「実施してほしい」事業を教えてください。(複数回答可)

訪問看護に関する県の取組として、「実施してほしい」事業を教えてください。(複数回答可)	
① 新人訪問看護師の育成体制を強化する事業(職場定着、資質向上)	97
② 訪問看護師の育成を支援する事業(ニーズの高いテーマの研修開催、OJT支援等)	138
③ 訪問看護サービスや訪問看護師の仕事に関する広報活動(体験実習、ガイド作成等)	80
④ 請求事務(診療報酬・介護報酬)をバックアップする事業(研修、相談窓口等)	141
⑤ 大規模化等訪問看護ステーションの運営を支援する事業(運営に関するコンサルティング等)	47
⑥ 病院連携を促進する事業(医療機関での実習等)	68
⑦ 訪問看護に関する拠点の整備(総合相談、情報やノウハウ提供等)	91
⑧ 資格取得支援事業(認定看護師・特定行為研修を受講する訪問看護師を対象)	90
⑨ その他	6

⑨ その他

・認定看護師や特定行為研修修了看護師が在籍している看護師の在籍状況や活用(同行訪問や相談等)について周知や自由閲覧できるようにしていただきたい。

特定行為研修修了看護師が特定行為を行ってのメリットや大変だったこと、デメリットについても知る機会を設けていただきたい。

ハラスメント防止に対し、県の研修でも提示いただいたomamolinkの交付や購入支援、ハラスメントの恐れがある訪問時に相談事業ではなく警察官の派遣事業等、訪問に安心してうかがえるような方策を実施していただきたい。

・看護師の求人

・違法な行為に対する内部告発への対応

・なし

・費用のかからない看護師人材紹介(ハローワークに近い形での)

問29-② 問 29 で回答が「②訪問看護師の育成を支援する事業」の場合、実施してほしい研修等を教えてください。(複数回答可)

問29で回答が「②訪問看護師の育成を支援する事業」の場合、実施してほしい研修等(複数回答可)(n=138)	
ア. ターミナルケアに関する研修	82
イ. 緩和ケアに関する研修	84
ウ. 小児疾患に関する研修	62
エ. 難病に関する研修	89
オ. 精神疾患に関する研修	67
カ. 認知症に関する研修	73
キ. 多職種連携に関する研修	53
ク. 退院調整に関する研修	35
ケ. OJT支援	48
コ. その他	3

コ. その他

- ・ポートやストマ等の管理について、実際に触って技術を習得・ブラッシュアップできる研修
- ・接遇、交通ルール、ハラスメント、倫理
- ・心不全、糖尿病、ストマケア、フットケア
- ・必須研修全般

6 令和5年度(R5.4.1～ R6.3.31)を振り返り、新型コロナウイルス感染症等への対応について

問30 この1年間で「こういうものがあつたらよかった」と感じたものがありましたか？(複数回答可)

この1年間で「こういうものがあつたらよかった」と感じたものがありましたか？(複数回答可)	
① 物的資源(衛生材料など)の補充	130
② 物的資源(衛生材料など)の購入経路の情報	76
③ 濃厚接触者の定義などの情報	118
④ 標準予防策の基本的な知識	59
⑤ 感染経路別予防策の知識	67
⑥ 个人防护具の使い方などの研修	36
⑦ スタッフ及び管理者のメンタルケアの研修	79
⑧ その他	14

⑧ その他

- ・訪問看護の共通マニュアル
- ・物的資源についても補充できており、基本的知識についても問題なかった。
- ・抗原キットの支給
- ・スタッフで感染者が出てスタッフ間での感染が認められた場合、その事を利用者に伝えるべきかどうかの判断基準になるもの
- ・地域ごとの感染状況の情報があると良かった。

問31 新型コロナウイルス感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの状況について教えてください

新型コロナウイルス感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの状況について教えてください (n=264) (単位:事業所)	
① すでに取り組んでいる(概ねできている)	166
② 一部取り組んでいる	87
③ まったく取り組んでいないが、これから取り組む予定	9
④ まったく取り組んでおらず、取り組める見込みがない	2

問31-2 問31で「②一部取り組んでいる」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか

問31で「②一部取り組んでいる」場合、以下で取り組んでいるのはどれですか?(複数回答可)(n=87)	
ア. 委員会の開催	33
イ. 指針(マニュアル等)の整備	75
ウ. 研修の実施	32
エ. 訓練の実施	13
オ. 県や他機関が実施する感染症等に関する研修の受講	14
カ. その他	2

カ. その他

- ・物品の準備と使い方の説明
- ・防護服などの準備

問31-3 問31で「④まったく取り組んでおらず、取り組める見込みがない」と回答した場合、その理由

問31で「④まったく取り組んでおらず、取り組める見込みがない」と回答した場合、その理由 (n=2)	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の不足、代表者の意識や協力の不足 ・時間的余裕がない 	

問32 自然災害(地震・台風・雷・洪水等)発生時の業務継続に向けた取り組みの状況について教えてください

以下で取り組んでいるのはどれですか?(複数選択可)	
① 業務継続計画(BCP)策定※・計画の見直し	257
② 研修の実施	126
③ 訓練の実施	102
④ その他	4

④ その他

- ・経過措置中にて、作成中。
- ・準備中
- ・まったく取り組んでいない

7 ハラスメント防止対策の対応について

問33 過去に利用者やご家族から看護職員等への暴力・ハラスメント被害の経験について教えてください

過去に利用者やご家族から看護職員等への暴力・ハラスメント被害の経験について教えてください (2次医療圏別事業所数) (n=266) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 経験あり	173	22	14	25	39	8	15	20	14	14	2
② 経験なし	93	10	6	17	14	8	8	11	9	9	1
無回答	3	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0

問34 ハラスメント防止の体制・取組について実施しているか教えてください

ハラスメント防止の体制・取組について実施しているか教えてください (2次医療圏別事業所数) (n=266) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① している	243	30	20	35	51	14	22	29	20	19	3
② していない	23	1	1	6	3	2	1	2	3	4	0
①している事業所の離職率	18.2%	17.7%	14.4%	16.0%	16.0%	15.4%	19.7%	17.7%	21.8%	30.0%	12.5%
②していない事業所の離職率	20.8%	0.0%	0.0%	20.7%	57.1%	20.7%	57.1%	25.0%	0.0%	22.2%	0.0%

問34-② 問34で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)

問34で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可) (n=243)	
ア. ハラスメント防止マニュアル等を作成し、体制を整備している	174
イ. ハラスメント防止研修の実施	146
ウ. 契約書または重要事項説明書にハラスメントについて明記している	157
エ. 複数人訪問を実施している	77
オ. その他	3

「イ. ハラスメント防止研修の実施」と回答した場合、実施した内容を教えてください (複数選択可) (n=146)	
a. 自所内で研修を実施した	106
b. 令和5年度の県主催の研修を受講・視聴した	49
c. その他のハラスメント防止研修に参加した	44

オ. その他

- ・ハラスメントの心配がある場合は、複数人で訪問する体制の整備ができています。
- ・常に防犯ブザーを持ち歩いている
- ・ご案内として契約時にハラスメントにあたる行為を具体的に記載したチラシを配布・説明している

8 訪問看護ステーション管理者について

問35 訪問看護管理者研修に参加していますか

訪問看護管理者研修に参加していますか (n=268) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 参加している	118	19	12	10	28	10	9	13	9	7	1
② 参加していない	150	12	9	32	26	6	14	18	15	16	2
①参加している事業所の離職率	15.4%	12.4%	13.3%	18.0%	14.9%	13.6%	16.0%	19.0%	20.7%	18.2%	0.0%
②参加していない事業所の離職率	20.9%	22.3%	14.9%	16.1%	20.3%	21.9%	25.0%	17.1%	17.1%	34.6%	20.0%

問36 管理者の経験年数を教えてください。

管理者の経験年数を教えてください。(n=269) (単位:事業所)	
① 1年未満	64
② 1～5年以下	99
③ 6～10年以下	58
④ 11～20年以下	32
⑤ 21年以上	16

問37 令和5年度の管理者の訪問回数を教えてください。

令和5年度の管理者の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別集計) (n=252) (単位:回)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
訪問回数	21,416	2,136	1,715	3,190	3,350	1,795	2,032	1,760	929	4,419	90

9 業務効率化や労働環境整備について

問38 ICT導入による業務効率化の実施状況を教えてください。

ICT導入による業務効率化の実施状況を教えてください。(n=267) (単位:事業所)	
① 実施している	223
② 検討中・準備中	27
③ 実施の予定はなし	17

問38-② 問38で「①実施している」と「②検討中・準備中」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)

「①実施している」と「②検討中・準備中」場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可) (n=250)	
ア. 看護記録システム・ソフトの導入	227
イ. 利用者との契約・事務手続きにおける電子署名の導入	11
ウ. 主治医との指示書、報告書等のやりとり	56
エ. 事業所外(訪問先等)でのスマートフォン・タブレットを用いた記録・報告	183
オ. ICT機器(テレビ電話等)を活用した健康観察	8
カ. ポータブルエコー等の医療デバイスの導入	3
キ. バイタルセンサー、IoT機器等を活用した健康観察	1
ク. その他	4

ク. その他

- ・訪問予定システム
- ・Zoomでの退院前カンファレンス
- ・独自のシステムによる勤務や訪問ルートなどの管理
- ・話を聞いている段階です

問39 メディカルケアステーション(MCS)を導入しているか教えてください。

メディカルケアステーション(MCS)を導入しているか教えてください。(n=267) (単位:事業所)	
① 導入している	216
② 導入していない	51

問40 労働環境整備・働き方改革を実施しているか教えてください。

労働環境整備・働き方改革を実施しているか教えてください。(n=266) (単位:事業所)	
① している	117
② していない	149

問40-② 問40で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)

「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(n=117) (複数選択可)	
ア. 企業内保育所を設置している。	26
イ. 残業0、土日祝日勤務なしを実現している。	24
ウ. テレワークを推進している。	11
エ. その他	56

「ア. 企業内保育所を設置している。」と回答した場合、令和5年以前に埼玉県多様な働き方推進課の企業内保育所補助金を使用しましたか？(n=26) (単位:事業所)

① 使用した	6
② 使用していない	18

「イ. 残業0、土日祝日勤務なしを実現している。」と回答した場合、具体例を教えてください。(n=24)

- ・訪問件数の調整
- ・月一金に当たる祝日は勤務
- ・代休を取る
- ・翌日できることは翌日に変更し当番制で週末の勤務にしている
- ・記録のiPad化
- ・日勤チームと夜勤休日チームの連携
- ・定時退社
- ・平日残業は概ね0を実現。土日祝日は休日としているが、計画的訪問のため勤務する場合はある。
- ・営業時間内で余裕をもって記録まで終了出来る訪問スケジュールにしています
- ・週休3日制や、時短、直行直帰など職員と協議の上柔軟に対応している。
- ・土日祝日の勤務なしは不可能だが、順番に休みを確保している。残業0はかなりできている。
- ・土、日、祝、夜間のみ訪問をする看護チームを作り対応している
- ・週末(金～日)当番を交代制とし休日確保できるようシフト作成
- ・土日祝日勤務なしは就業規則により定義している。記録の作成等はタブレット、ノートPCの貸与により残業時間は1時間/月(継続教育訓練、委員会を実施)を実現している。
- ・シフトの調整
- ・R6年7月より完全週休2日制導入
- ・訪問スケジュールの調整
- ・日勤と土日夜間緊急の看護師を分けている。
- ・土曜日専門の看護師の採用。
- ・勤務時間外専門看護師がいる
- ・デスクワークの時間を日々とり報告書の作成をしている
- ・平日残業なし
- ・土日出る場合は出た分の休みを平日に取っていただいている。ルートの合間に記録ができるため、残業はほとんどない
- ・時間内でスタッフの業務が終わるようにお互い助け合ってる

「ウ.テレワークを推進している。」と回答した場合、具体例を教えてください。(n=11)

- ・直行直帰の推進、
- ・訪問終了後は自宅または車内での記録作成が可能。
- ・記録等入力について、テレワークを可能としている
- ・看護ソフトとタブレット端末で記録入力
- ・zoom
- ・研修などはzoomなどを利用し、自宅で受けるようにしている。
- ・土日は定期訪問以外の時間は在宅ワーク可としている。
- ・天候不良要因で訪問難しい場合テレワークにて在宅にて記録等作成実施
- ・管理者の事務作業
- ・iPadを使用し、記録記入。
- ・申し送りやミーティングをグループLINEで行う
- ・訪問終了後は、直帰可能。自宅で記録することも可能。

エ. その他

- ・残業なし、有給休暇取得の推進
- ・ノー残業デイを設置
- ・残業時間短縮の取り組み
- ・職員の時短勤務
- ・育児短時間制度の導入
- ・時間有給の取得
- ・看護休暇・育児休暇等の取得
- ・子育て中のスタッフが業務を継続できる勤務体制の確立
- ・担当制で訪問を行い、個々の利用者宅には同じ職員が訪問をする。そのため自身の動きやすいスケジュールを組んでもらい、直行直帰してもらっている。
- ・お休み希望100%取得。
- ・フレックスタイムを導入している。
- ・フレックスタイム制を導入し職員個々の働き方に合わせた体制を取っている。
- ・直行直帰の導入、ICTにて連絡報告を簡略化
- ・変形労働時間制の勤務体制
- ・フレックス休暇
- ・月1日のシフト休の導入
- ・多様な勤務体系、時間有休の取得促進
- ・土日勤務したら月曜日は休みにする
- ・待機当番を調整し連続勤務をなくす。
- ・オンコール翌日の業務調整。
- ・オンコールで訪問時、翌日勤務を時短とする。
- ・時間外労働後の振替休日などの考慮。出勤時間の調整。
- ・待機で緊急訪問が多かったり、深夜帯であったりした場合、翌日の勤務調整をしている。
- ・夜間緊急時訪問をした場合は翌日に勤務調整を行っている(早退など休息目的)
- ・業務効率化に向けて必要なことと不必要な業務を明確化し取り組んでいる
- ・自宅で作業できるように環境を提供する
- ・タブレットを導入したことで外出先で記録が出来、ステーションに戻らず時間短縮が出来る。
- ・診療報改定でのベースアップ評価加算を算定し、各職員に手当支給をしている
- ・処遇改善
- ・手当であり
- ・夜間・休日出勤時には代休対応や時間給対応
- ・基本給のアップ
- ・賃金ベースアップ
- ・猛暑手当、
- ・飲食への補助
- ・心理的ケアのための話し合い。
- ・自宅そばに駐車場を借用し、社用車貸与による直行直帰体制
- ・自宅そばに駐車場を借用しての直行直帰体制
- ・掃除を業務時間内に行う。
- ・台風など自然災害の際早く帰す。

(1)ワークライフバランスの仕組みがある。(n=248)	
①はい	133
②いいえ	115

(2)スタッフが有給休暇を年間5日以上取得している。(n=250)	
①はい	237
②いいえ	13

(3)スタッフが希望に応じて休みを取れている。(n=252)	
①はい	243
②いいえ	9

(4)スタッフ(管理者を除く)の有給休暇取得率が50%以上である。(n=245)	
①はい	197
②いいえ	48

(5)スタッフが緊急訪問(休日・時間外)をした場合、勤務間インターバルを配慮している。(n=247)	
①はい	177
②いいえ	70

(6)スタッフが希望に応じて長期の育児・介護休暇・子の看護休暇等を取得している。(n=247)	
①はい	172
②いいえ	75

(7)管理者は有給休暇を年間5日以上取得している。(n=248)	
①はい	206
②いいえ	42

「訪問看護ベースアップ評価料」を算定していますか。(n=264)	
① 算定している	127
② 算定していない	102
③ 算定予定	14
④ 算定予定なし	16
⑤ 知らなかった	5

10 特定行為研修を修了した看護師の活用・育成について

問41 貴事業所で特定行為研修修了者の育成・活用をしたいと思いますか？

貴事業所で特定行為研修修了者の育成・活用をしたいと思いますか？ (2次医療圏別事業所数) (n=265) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 是非育成・活用したい。	41	4	2	6	7	2	5	5	5	4	1
② できれば育成・活用したい。	122	16	12	13	27	6	12	13	8	14	1
③ 育成・活用は難しい。	76	9	5	14	14	5	5	10	8	5	1
④ 育成・活用するつもりはない。	26	3	2	6	6	3	1	3	2	0	0
無回答	4	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0

問41で「③ 育成・活用は難しい。」「④ 育成・活用するつもりはない。」の場合、以下を回答ください。 (複数選択可) (n=80)	
ア. 特定行為研修を受講させる人員の余裕がない。	65
イ. 実習施設の確保が困難である。	21
ウ. 特定行為に関する医師の理解が進まない。協力が得られない。	7
エ. 利用者の理解が進まない。	3
オ. その他	4

オ. その他

- ・希望者がいない。
- ・必要に感じない
- ・看護師は看護行為のみに集中すべきだと思う、特に在宅は
- ・現段階では興味がない
- ・現在必要でない為
- ・組織方針による同意賛同にハードルあり
- ・有資格者が訪問看護技術、経験不足
- ・廃止予定のため
- ・会社の方針

11 医療安全体制について

問42 医療安全の体制・取組について実施しているか教えてください。

医療安全の体制・取組について実施しているか教えてください。 (2次医療圏別事業所数) (n=266) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① している	206	26	16	26	45	11	19	22	20	18	3
② していない	60	6	5	14	9	5	4	9	3	5	0
無回答	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0

問42で「① している」場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可) (n=206)	
ア. 自所内で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している	154
イ. 地域連携や法人内連携で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している	58
ウ. 医療安全研修の実施	92
エ. 弁護士等の外部に委託して、医療安全の指南や相談をしている	5
オ. その他	1

「ウ. 医療安全研修の実施」の場合、以下を回答ください。(複数選択可) (n=92)	
a. 自所内で研修を実施した	63
b. 地域連携や法人内連携で研修を実施した	36
c. その他の医療安全研修に参加した	23

オ. その他

- ・同法人で行う研修に参加している。
- ・そこまでおいつかない

12 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について

問43 令和5年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。

令和5年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	269	32	21	42	54	16	23	31	24	23	3	126	85	42	10	6
① 県が実施した研修・事業を知っている。	214	27	17	30	47	12	18	25	20	16	2	105	75	28	6	0
② 県が上述の研修等を実施していることを知らなかった。	39	3	3	7	5	2	3	6	2	7	1	16	8	9	4	2
無回答	16	2	1	5	2	2	2	0	2	0	0	5	2	5	0	4

令和5年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=269) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 県が実施した研修・事業を知っている。	79.6%	84.4%	81.0%	71.4%	87.0%	75.0%	78.3%	80.6%	83.3%	69.6%	66.7%	83.3%	88.2%	66.7%	60.0%	0.0%
② 県が上述の研修等を実施していることを知らなかった。	14.5%	9.4%	14.3%	16.7%	9.3%	12.5%	13.0%	19.4%	8.3%	30.4%	33.3%	12.7%	9.4%	21.4%	40.0%	33.3%
無回答	5.9%	6.3%	4.8%	11.9%	3.7%	12.5%	8.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	4.0%	2.4%	11.9%	0.0%	66.7%

「① 県が実施した研修・事業を知っている。」場合、以下の各項目にご回答ください。

ア. 訪問看護研修・訪問看護管理者研修 (2次医療圏別事業所数) (n=225) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受講した	68	13	6	10	10	5	5	7	8	4	0	36	20	10	2	0
②受講しなかった	157	15	12	20	39	8	17	18	12	14	2	75	54	22	4	2
①受講した事業所の離職率	16.3%	12.6%	12.7%	15.5%	9.6%	20.6%	16.4%	21.2%	27.7%	21.8%	0.0%	13.4%	19.3%	25.6%	23.5%	0.0%
②受講しなかった事業所の離職率	17.8%	18.3%	16.0%	14.1%	18.3%	19.1%	18.3%	15.4%	15.3%	25.7%	9.1%	17.2%	17.8%	21.0%	11.8%	36.4%

イ. 医療事務研修 (2次医療圏別事業所数) (n=223) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受講した	64	10	6	7	12	4	7	4	5	7	2	34	26	4	0	0
②受講しなかった	159	17	11	23	37	9	15	21	15	11	0	73	50	28	6	2
①受講した事業所の離職率	14.7%	8.2%	14.9%	14.6%	11.8%	27.3%	13.3%	24.0%	16.9%	17.2%	9.1%	11.5%	20.2%	14.5%	0.0%	0.0%
②受講しなかった事業所の離職率	19.7%	20.5%	14.9%	14.7%	23.4%	14.6%	20.3%	14.8%	21.6%	30.9%	0.0%	19.2%	18.6%	24.1%	17.6%	36.4%

ウ. 訪問看護ハラスメント防止研修(2次医療圏別事業所数)(n=222)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受講した	68	14	8	6	6	5	5	5	10	7	2	36	23	8	1	0
②受講しなかった	154	13	10	23	42	8	16	20	11	11	0	70	53	24	5	2
①受講した事業所の離職率	15.1%	13.6%	16.4%	23.9%	11.7%	18.0%	6.2%	15.6%	16.8%	19.2%	9.1%	12.3%	19.7%	17.3%	0.0%	0.0%
②受講しなかった事業所の離職率	19.3%	17.3%	14.6%	12.3%	21.2%	21.9%	24.6%	17.2%	21.8%	28.6%	0.0%	18.7%	18.9%	22.1%	21.4%	36.4%

エ. 教育ステーション事業(ZOOM等研修、同行訪問) (2次医療圏別事業所数)(n=223)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	52	12	3	7	6	2	7	2	5	7	1	28	18	5	1	0
②利用しなかった	171	15	16	22	42	11	15	23	15	11	1	80	57	27	5	2
①利用した事業所の離職率	17.2%	12.0%	12.5%	14.0%	21.4%	42.9%	24.2%	8.2%	25.3%	18.2%	0.0%	14.8%	21.1%	26.1%	0.0%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	18.1%	19.5%	15.2%	15.2%	17.7%	17.6%	14.0%	18.4%	17.6%	28.2%	20.0%	16.6%	19.0%	21.6%	21.4%	36.4%

オ. 訪問看護師育成プログラム普及事業(2次医療圏別事業所数)(n=223)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	28	4	2	2	4	2	3	3	7	1	0	16	8	4	0	0
②利用しなかった	195	22	17	28	44	11	19	22	13	17	2	91	68	28	6	2
①利用した事業所の離職率	14.1%	9.5%	37.5%	16.2%	0.0%	30.8%	27.0%	11.8%	18.0%	0.0%	0.0%	10.5%	24.5%	14.0%	0.0%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	18.8%	18.0%	13.4%	14.5%	22.0%	16.3%	16.1%	17.4%	21.7%	29.3%	9.1%	17.8%	18.8%	23.7%	17.6%	36.4%

カ. 訪問看護ステーション体験実習事業(2次医療圏別事業所数)(n=223)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受け入れた	41	9	6	1	6	4	2	4	3	5	1	26	12	2	1	0
②受け入れなかった	182	17	13	29	44	9	20	21	15	13	1	81	64	30	5	2
①受け入れた事業所の離職率	12.5%	7.3%	16.0%	0.0%	6.8%	19.2%	30.8%	12.1%	32.6%	9.0%	0.0%	9.6%	18.5%	33.3%	0.0%	0.0%
②受け入れなかった事業所の離職率	19.6%	21.0%	14.3%	15.0%	22.6%	20.2%	16.2%	18.0%	17.9%	30.3%	20.0%	18.9%	19.8%	21.6%	21.4%	36.4%

キ. 訪問看護ステーション管理者支援事業(相談窓口) (2次医療圏別事業所数)(n=224)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	53	10	3	4	12	4	3	7	4	4	2	27	18	8	0	0
②利用しなかった	171	17	16	26	36	9	19	18	16	14	0	80	59	24	6	2
①利用した事業所の離職率	13.9%	10.0%	29.3%	9.3%	12.3%	23.3%	0.0%	13.2%	25.4%	8.8%	9.1%	14.3%	10.3%	19.8%	0.0%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	19.4%	18.4%	12.3%	15.6%	22.3%	17.6%	19.8%	18.6%	18.3%	30.5%	0.0%	17.3%	21.6%	23.4%	17.6%	36.4%

ク. 認定看護師等活用事業 (2次医療圏別事業所数) (n=221) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受け入れた	11	2	0	2	2	0	1	1	1	2	0	8	3	0	0	0
②受け入れなかった	210	24	18	28	46	13	21	23	19	16	2	96	74	32	6	2
①受け入れた事業所の離職率	6.5%	0.0%	0.0%	11.8%	12.8%	0.0%	13.3%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
②受け入れなかった事業所の離職率	19.0%	17.6%	15.0%	15.1%	20.1%	19.8%	18.0%	16.1%	21.2%	31.6%	9.1%	18.0%	19.2%	22.3%	17.6%	36.4%

ケ. 高度な医療に対応する訪問看護師育成事業 (2次医療圏別事業所数) (n=223) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	4	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0
②利用しなかった (対象外だった)	219	25	19	30	46	13	22	25	20	17	2	102	77	32	6	2
①利用した事業所の離職率	6.2%	9.1%	0.0%	0.0%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②利用しなかった (対象外だった)事業所の離職率	18.5%	16.8%	14.7%	14.7%	20.1%	19.8%	17.7%	16.9%	20.2%	29.3%	9.1%	17.3%	19.1%	22.3%	17.6%	36.4%

11 その他

問44 訪問看護サービスの安定的な提供について、ご意見やご要望があればお聞かせください。

<研修関係>

- ・まだ一年未満の事業所なので研修の受講が難しいです。
- ・ホームページ等の写真掲載による二次被害(顔をすげ変えてSNSに掲載等)等、教育委員会や幼稚園・保育園等の関係では顔出ししないよう注意喚起をしているが、同様に女性の多い職種で夜間も対応する職種であるがゆえに性被害等から守るための方策が必要と思われる。上記にも記したが、埼玉県で行ったハラスメント防止の研修にのっとってもう少し具体的に訪問看護師を守ってくれる策があると就職率が上がるのではないかと。
- ・事業所の状況も関わってくるのですが、ZOOM等でも参加できる研修の企画を引きつづきお願いしたいです。
- ・開設から1年未満のため、基礎的な整備が不十分なため、(物品整備、マニュアル作成、請求業務など)当ステーションで今何が必要で、不十分かの指摘出しやご教授願いたい。
- ・同一内容の研修を複数回行っていただきたい。(日程が合わずいつも参加できないため)
- ・スタッフ育成・管理者育成などの研修に参加していければと思います。
- ・人材育成に関する研修の充実。雇用促進に関する取り組みを行って欲しい。

<雇用・人材育成・経営関係>

- ・看護師の人員確保の問題を解決したい。
- ・訪問看護ステーションが数多く立ち上がる中、地域での利用者の取り合いとなっています。また、病院やクリニックの利用者の囲い込みも始まり、小さなステーションは存続が危なくなっています。訪問看護は介護保険、医療保険の二つの制度での利用があり、報酬改定のたびにさらに複雑化し理解するのに時間を要します。この特殊な状況の訪問看護を、もっと行政が理解し支援してくれたら、と願っています。
- ・職員の処遇が安定することで利用者へのサービス提供も安定して行うことができると考える。
- ・人員確保のための助成金
- ・質問:報告書・計画書作成は定期的な義務であり、現在毎月作成しています。情報提供書は算定対象であり、毎月必要であることは理解できる。報告書・計画書については、「定期的」がどの程度での間隔をとってよいか、業務として負担軽減を図りたいと思っています。
- ・職員の採用・募集に苦勞を要し、紹介会社頼みになってしまいますが、コストが高いわりにいい人材も少ない。
- ・訪問看護師を募集していますが応募がないのが現状です。その間に現職ナースの高齢化が進み後継者がいない状況です。又オンコールができる人が限られている為、お盆休みは無し、お正月も2年に1回しか休みが取れません。(これでもまだましなほうだと思います)どこのステーションもギリギリの状態で行っているのではないのでしょうか。
- ・少人数で運営しているステーションは経営合併でもして大型化ができれば少しはナース個々の負担が減るのではないかと個人的には思うのですが、一法人職員の立場では何ともしようがありません。
- ・常勤看護職員は緊急携帯当番が負担。看護師以外が日中電話対応できるようになっても、土・日・夜間の対応は看護師の為、負担軽減にはつながらない。2台対応だが、土・日休みでも携帯を持たない日が月1週間しかなく、休日の自由がない。電話が負担で、常勤になりたがらない。
- ・病状・医療的な電話対応ならまだしも、実際は介護困難での電話対応がある。シーツが汚れ変えられない・オムツ交換が大変・けがはないが立てないなどで夜間・休日に訪問はスタッフが不満を持つ。介護(ヘルパー)対応の仕組みが欲しい。
- ・管理者のケアもしてほしい。

- ・管理者業務は忙しくてなかなかすべてに手が回らない。現場にもでないといけない。もっと管理者の負担が軽減できないものか、負担が多くて辞めたくなることも多い。
- ・マンパワー不足が顕著となっています。紹介を受けても、報酬を高く要求され、面接にも至りません。大変な時代が来たことを痛感しています。
- ・民間の人材紹介手数料が高額なため、経営を圧迫しかねません。手数料の額などについて上限などの改善が必要と思います。
- ・ポケットエコーの導入はしているが、安いものだと映りが悪く活用率が悪い。高価なため1台レンタルが経営的にギリギリの状況。機器類の購入補助を希望します。
- ・毎年新たなステーションが立ち上がり地域で支える職種のはずが閉所も目立つ。個人経営の事業所での経営安定は小さなことの積み重ねであると感じます。

<利用者関係>

- ・新規利用希望があっても対応できないことがある。

<加算、レセプト請求関係>

- ・特別の関係かつ、「訪問看護ステーション」への指示書交付関係の同一算定制限を緩和してほしいです。
- ・インフレ率にあったベースアップを望みます。
- ・電話対応に対する加算が必要。
- ・加算算定要件で認定看護師が所属していることが必要になってくると思いますので、認定や専門看護師育成するための補助の拡大を望みます。
- ・介護保険において月1回目の緊急時の夜間早朝訪問は加算が算定できないのはなぜか。人件費は深夜料金が発生します。

<その他>

- ・地域の医療機関へ、訪問看護ステーションの空き情報等定期的に周知できるシステムの構築ができるとうい。保健医療圏域で横の繋がりが強化
- ・これから老人が増えていくのでどんどん看護師を鍛えてフルに働き、地域を支えていけるようにしたいと考えます。自宅にいる看護師やシルバーの看護師さんなどの協力が必要ではないか、若い看護師も地域で動けるようになると良いと考えます。
- ・利用者はもちろんですが、職員にとっても無理のない範囲で訪問調整することで精神的に落ち着いた訪問ができると思います。
- ・問い合わせがしやすいと安心です。いつもありがとうございます。
- ・医療機関と訪問看護事業の連携が強化されるような取り組みを希望します。
- ・短期間でも病棟や在宅で勤務がお互いに出来るシステムや人材確保ができるように訪問看護の良さを積極的にアピールをして頂いたり、新たに人材確保につながる制度が出来るとお願いいたします。
- ・訪問先での、セクハラやパワハラなど、夜間の緊急訪問で一人に対応していましたが、安全面を考えると不安になります。現在は、自分が行った事のない緊急訪問は、第2待機と一緒にいくといった事も行っています。
- ・こういった類のアンケートが多く回答に時間を取られるのが結構大変です。
- ・このようなアンケートも時間がかかる。
- ・『訪問看護は何をしてくれるの?』と言う利用者が多く、世間一般の認知度がまだまだ低いと思います。普及活動を進めていただければと思います。
- ・医療機関の在宅、訪問看護への不理解

・ケアマネの資質向上

- ・看護師の腰痛対策が喫緊の課題となっている。若い世代でも病院勤務中に腰痛発症しているため重度介護が必要な利用者宅や床から抱っこする子供の対応が出来ない看護職員も多く、50代後半の看護師が対応せざるを得ない状況。介護ロボットなど腰痛予防の機器類は高価で購入が出来ないため、補助があると助かる。
- ・事業所の規模に応じて設備設置やシステム導入など現状に合わせる緩みがほしい。大きな事業に合わせることは不可能。
- ・いつもステーション協会の活動には助けられています。ありがとうございます。
- ・訪問看護の安定的な提供に関して感じる事、今後改善できるのであれば改善したいと感じることは、埼玉県北だけなのか、医師から訪問看護指示書の書き方が分からないため書けないと言われることが少なくなる。
- ・訪問看護指示書発行時の郵送料はステーション負担なのか。訪問看護指示料に含まれないのか。